

49 歳以下の国保被保険者における小児慢性特定疾患受診状況分析

研究分担者 谷原 真一（福岡大学医学部衛生公衆衛生学准教授）

研究要旨 49 歳以下の国保被保険者における小児慢性特定疾患（小慢）受診状況を明らかにすることを目的とした。K 県国保被保険者の 2010 年 5 月診療分の医科レセプトの内、電子化されたレセプトに記載された全ての傷病名をコード化し、小慢に該当する傷病名を少なくとも一つ有するレセプトについて集計した。研究の結果、受診者数は 20 歳未満では呼吸器系の疾患が最多、20 歳以上では内分泌、栄養および代謝疾患が最多であった。受診者一人当たり点数では、血液および免疫、循環器系の疾患、尿路性器系はいずれの年齢階級でも高くなっていった。疾病小分類別に一人当たり点数を検討した結果は、年齢によって上位に位置する疾病が異なっていた。20 歳以降に発症した患者のレセプトや重症度が勘案される疾患のレセプトについては排除できないため、把握には一定の限界がある一方、血友病や先天奇形のように、小慢で医療費の公費助成を受けていたことがほぼ確実な疾病の一部は 20 歳以降も継続して受診していることが確認された。レセプト情報により小慢のいわゆるキャリアオーバー患者の受療状況を把握することは有益と考えられた。

A. 研究目的

児童福祉法による小児慢性特定疾患（以後、小慢）の医療費公費助成は原則 18 歳未満の患者が対象であり、助成終了となった 20 歳以降の患者の実態は明らかになっていない。診療報酬明細書（レセプト）は特定の研究のために設計された調査票とは異なる特性を有するが、保険診療であれば医師の届出に依存せずに傷病名や医療費に関する情報が得られるという特徴を有する。

従来のレセプトは紙媒体で提出されていたため、レセプトに記載された全ての傷病名を考慮した分析を実施することは困難であった。現在は、レセプトのオンラインもしくは電子媒体での提出が徐々に義務化されている。病院は平成 22 年 1 月、医科診療所は 22 年 8 月より原則電子化された。電子化されたレセプトの割合は、平成 23 年 3 月時点で病院 99.7%、医科診療所 91.0%と平成 20 年 4 月時点の病院 62.9%、

医科診療所 25.0%から著しく電子化が進展している。

レセプトには 1 カ月間の診療行為が一括して記載されるため、レセプトには複数の傷病名が記載される場合が多い。小慢の受診状況や医療費を検討する上では同時に複数の傷病名を考慮した集計が必須であるが、電子化の進展によって、入力作業の軽減化が可能となり、分析対象とする傷病名を少なくとも一つ有するレセプトの検索も容易となった。

今回、いわゆるキャリアオーバー患者といわれる 20 歳以降の小慢患者の実態を明らかにするために、電子化されたレセプト情報を用いた分析を実施した。

B. 研究方法

K 県国民健康保険（国保）被保険者の 2010 年 5 月診療分の医科レセプトの内、電子化されたレセプトに記載された全ての傷病名をコー

ド化し、小慢に該当する傷病名を少なくとも一つ有するレセプトについて集計した。K 県国保連合会を通じて各市町村に本研究の意義を説明し、データ使用の了解を得た。個人特定可能な情報は K 県国保連合会の側で削除し、外部データとの連結不可能な匿名化を実施した。本研究計画は福岡大学倫理審査委員会の承認を得た。

分析において、対象疾患が小慢に該当するものに限定されることから、年齢が高くなるとともにキャリアオーバーした疾患か成人以降の発症か否かの区分が不明確になるため、50 歳以上は除外し、対象者の年齢は 0～50 歳未満とした。対象者の年齢の算出は 2010 年 4 月 1 日時点での満年齢とした。小慢に該当する傷病名が記載されており、受診者の年齢が 2010 年 4 月 1 日時点で 50 歳未満のレセプトを分析対象とした。

小慢の定義は、恩賜財団母子愛育会（事業管理部）による「小児慢性特定疾患早見表（登録管理用）平成 19 年度版」（<http://www.aiiku.or.jp/aiiku/mch/syoman/syo.htm>）に準拠した。

電子化されたレセプトでは、傷病名について「疾病及び関連保健問題の国際統計分類：International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems」の第 10 回修正版（ICD10）に準拠したマスタに対応するコードを用いることが求められている。何らかの事情で ICD10 に対応付けされなかった傷病名については、未コード化傷病名（コード:0000999）として処理することとされている。対象となるレセプトの抽出に先立って、全てのレセプトにおける未コード化傷病名について、対応する自由記載欄に示されたテキストから傷病名を ICD10 に沿って分類した。

分析対象としたレセプトに複数の小慢に該

当する傷病名が記載されている場合は、以下の定義にしたがって各レセプト毎に該当する小慢の傷病名を一つ選択した。1) 1 件のレセプトに小慢に該当する傷病名が複数記載されている場合は、主傷病である小慢を選択した。2) 主傷病である小慢が複数存在する場合またはいずれの小慢も主傷病でない場合は、より先頭に近い位置に記載されているものを選択した。

集計項目としては、ICD10 による疾病大分類と小慢対象疾患を定める告示 11 疾患群について、性・年齢階級別に被保険者 10 万人当たり小慢受診者数、受診者一人当たり点数を集計した。また、性・年齢階級別に疾病小分類別受診者数および点数合計、疾病小分類別受診者一人当たり点数の順位を求めた。なお、集計結果が 10 人未満となった疾病は、レセプト情報などの提供に関する有識者会議による最小集計単位の原則から具体的な計数を記入しないこととした。

C. 研究結果

表 1 に 2010 年 4 月 1 日時点の性・年齢階級別被保険者数（50 歳未満）を示す。0-9 歳の 35502 人から 40-49 歳の 56995 人へ年齢階級が高くなるにつれて被保険者数が増大する傾向が認められた。男女比はいずれの年齢階級も男の方が高くなっていた。

表 2-1 に 2010 年 5 月診療分の年齢階級別被保険者 10 万人当たり疾病大分類別受診者数（男）を示す。0～39 歳では J 呼吸器系の疾患で被保険者当たりの受診者数が最も高く、40-49 歳では E 内分泌、栄養および代謝疾患が最も高くなっていた。ほぼ全ての疾患で 20 歳以上より被保険者当たりの受診者数が増大する傾向が認められた。Q 先天奇形、変形および染色体異常についても、29 歳までは年齢と共に被保険者当たりの受診者数が低下していた

が、30歳以降では再び増加に転じていた。M筋骨格系および結合組織の疾患では10歳未満の年齢階級と10歳以上では大きく異なっており、10歳以降の年齢階級はおおむね10歳未満の年齢階級の被保険者当たり受診者数の10分の一程度であった。

表2-2に2010年5月診療分の年齢階級別被保険者10万人当たり告示11疾患群別小慢受診者数(男)を示す。ICD10による分類と若干異なるため、傷病名が同一のカテゴリでも数値に若干の差異が生じている。糖尿病、神経・筋疾患、慢性消化器疾患を除くほぼ全ての疾患群で10代または20代が最も低くJ型の分布となっていた。悪性新生物、慢性腎疾患、糖尿病は20代以降からの増加が急激であり、成人以降の発症例の占める割合が高いと考えられた。血友病等血液疾患、神経・筋疾患は他の疾患群と比較して年齢による変動が少なく、疾病の性質からも、いわゆるキャリアーオーバ患者の割合が高いと考えられた。

表3-1に2010年5月診療分の年齢階級別被保険者10万人当たり疾病大分類別小慢受診者数(女)を示す。男と同様に0-19歳の年齢階級ではJ呼吸器系の疾患で被保険者当たりの受診者数が最も高かった。しかし、20歳以上ではE内分泌、栄養および代謝疾患が最も高くなっていた。A,B感染症および寄生虫症はいずれの年齢階級も男より低く、D50-89血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害はいずれの年齢階級も男より高いなど、性別によって疾病の頻度が異なっていた。

表3-2に2010年5月診療分の年齢階級別被保険者10万人当たり告示11疾患群別小慢受診者数(女)を示す。大きな傾向はICD10による分類とほぼ同一であった。悪性新生物、糖尿病は年齢が高くなるにつれて増加しており、成人以降での発症例の割合が高いことは男と

同様であった。血友病等血液疾患、神経・筋疾患は他の疾患群と比較して年齢による変動が少なく、疾病の性質からも、いわゆるキャリアーオーバ患者の割合が高いと考えられることも男と同様であった。

表4-1に2010年5月診療分の年齢階級別被保険者10万人当たり疾病大分類別小慢受診者数(合計)を示す。これまでの男女別の集計と同様に10歳未満の年齢階級ではJ呼吸器系の疾患で被保険者当たりの受診者数が最も高かった。C,D48新生物やI循環器系の疾患は年齢階級が高くなるにつれて被保険者当たりの受診者数が高くなっていた。

表4-2に2010年5月診療分の年齢階級別被保険者10万人当たり告示11疾患群別小慢受診者数(合計)を示す。これまでの男女別の集計と同様に、悪性新生物、糖尿病は年齢階級が高くなるにつれて受診者数が大きく増加していた。慢性呼吸器疾患は10歳未満の年齢階級が最も高いことも同様であった。

表5-1に2010年5月診療分の年齢階級別疾病大分類別受診者一人当たり点数(男)を示す。10歳未満で被保険者当たりの患者数が最も多かったJ呼吸器系の疾患は受診者が認められた疾病大分類の中で受診者一人当たり点数の低い方から見てA,B感染症および寄生虫症につづいて第2位と被保険者当たりの医療費は低くなっていた。受診者一人当たり点数が最も高い疾病は、10歳未満ではI循環器系の疾患、10~29歳ではD50-89血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害、30~39歳ではA,B感染症および寄生虫症、40~49歳ではN尿路性器系の疾患となっており、年齢によって一人当たり点数が高くなる疾病は異なる傾向が認められた。

表5-2に2010年5月診療分の年齢階級別11告示疾患群別受診者一人当たり点数(男)を示

す。被保険者当たりの受診者数が最も多かった10歳未満の慢性呼吸器疾患は受診者一人当たり点数は比較的低くなっていた。20歳代の悪性新生物は被保険者当たりの受診者数は比較的少なかったが、受診者一人当たりの点数は他の年齢階級と比較して高額となっていた。血友病等血液疾患、神経・筋疾患は10才未満の年齢階級を除き、いずれの年齢階級も1万点を超えており、被保険者当たりの受診者数は少ないものの、医療費が非常に高額な者が存在していることが明らかになった。

表6-1に2010年5月診療分の年齢階級別疾病大分類別受診者一人当たり点数(女)を示す。J呼吸器系の疾患は受診者が認められた疾病大分類の中での順位は男とは異なる者の、受診者一人当たり点数の値は男とほぼ同じであった。受診者一人当たり点数が最も高い疾病は、10歳未満がD50-89血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害、10~19歳がI循環器系の疾患、20~29歳がF精神および行動の障害、30-39歳がD50-89血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害、40-49歳がF精神および行動の障害と、男とは異なる傾向であった。

低い方から見てA,B感染症および寄生虫症はいずれの年齢階級でも女の方が男より受診者一人当たりの点数は低く、G神経系の疾患についてはいずれの年齢階級でも女の方が男より受診者一人当たりの点数は高いなど、性別による違いが認められた。

表6-2に2010年5月診療分の年齢階級別11告示疾患群別受診者一人当たり点数(女)を示す。男と同様に10歳未満で被保険者当たりの患者数が最も多かった慢性呼吸器疾患の10歳未満の受診者一人当たり点数はそれほど高くなかった。被保険者当たりの受診者数の比較的少ない悪性新生物の10歳代、糖尿病の20歳

代で医療費が高額な状況が認められた。膠原病は10歳未満では膠原病と先天性代謝異常が他の年齢階級と比較して高額な医療費となっていた。

表7-1に2010年5月診療分の年齢階級別疾病大分類別受診者一人当たり点数(合計)を示す。10歳未満で被保険者当たりの患者数が最も多かったJ呼吸器系の疾患の受診者一人当たり点数はあまり高くないことはこれまでと同様であった。いずれの年齢階級もD50-89血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害は受診者一人当たり点数が1万点を超えていた。I循環器系の疾患は40-49歳では若干低くなっていたものの、それ以外の年齢階級では受診者一人当たり点数が1万点を超えていた。M筋骨格系および結合組織の疾患は10歳未満の年齢階級でのみ一人当たり点数が1万点を超えていた。Q先天奇形、変形および染色体異常は10歳未満と40-49歳で一人当たり点数が1万点を超えるJまたはU字型といえる傾向であった。

表7-2に2010年5月診療分の年齢階級別11告示疾患群別受診者一人当たり点数(合計)を示す。これまでの男女別の集計と同様に、悪性新生物の10歳代では医療費が非常に高額となっていた。20歳以降のいわゆるキャリアオーバーに該当する年齢では血友病等血液疾患と神経・筋疾患は20歳以降でいずれも1万点を超えていた。

表8-1に年齢別疾病小分類別受診者数上位10位(男)を示す。いずれの年齢階級もJ459アレルギー性気管支炎が最も受診者の多い疾患であった。第2位以下の疾患は年齢によって異なっており、0~19歳では先天奇形や硬化性糸球体腎炎が多い傾向であった。20歳以上ではE780家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)やI499ペースメーカー

調律および I209 狭心症などの循環器疾患に関連する疾病が多い傾向となっていた。30 歳未満の年齢階級では第 2 位以下の疾病の患者数は 30 人未満であり、J459 アレルギー性気管支炎とは大きく異なっていた。また、年齢階級によっては、上位 10 位以内の疾病でも 10 人未満の場合が多くなっていた。

表 8-2 に年齢別疾病小分類別受診者数上位 10 位(女)を示す。いずれの年齢階級も J459 アレルギー性気管支炎が最も受診者の多い疾患であったことは男と同様であった。第 2 位の疾患は 10 歳未満を除く全ての年齢階級で E283 原発性性腺機能低下症(女)となっていた。その他、E039 甲状腺機能低下ミオパチー、D391 卵巣腫瘍、E221 高プロラクチン血症も上位 10 位以内に認められる傾向が高く、性別によって疾病の違いがあることが明らかであった。Q828 Bloom 症候群は 10 歳未満で 10 人未満、10-19 歳で 18 人、20-29 歳で 10 人、30-39 歳で 31 人と順位は高くないものの、常染色体劣性の遺伝病として無視できない人数であった。また、30-39 歳では 10 位以下だが(11 位) E722 アルギニノコハク酸尿症と E538 先天性葉酸吸収不全症がそれぞれ 17 人認められた。

表 8-3 に年齢別疾病小分類別受診者数上位 10 位(合計)を示す。いずれの年齢階級も J459 アレルギー性気管支炎が最も受診者の多い疾患であった。第 2 位以下の疾病は男女で認められた傾向が合計したことによってやや不明確になっていた。19 歳以下の年齢階級では第 2 位以下の疾病の受診者数はいずれも 50 人未満であり、疾病の分布が幅広くなっていた。

表 8-4 から表 8-8 に各年齢階級別の疾病小分類別受診者数上位 10 位以内の疾患について、性別に他の年齢階級別受診者数の推移を示す。10 歳未満で受診者数上位 10 位以内の疾

患の多くは年齢が高くなるにつれて受診者数が減少する傾向であった。しかし、E039 甲状腺機能低下ミオパチーについては年齢が高くなるにつれて受診者数が増加していた。Q210 右室二腔症や Q828 Bloom 症候群などの先天性疾患については年齢による変化は特に認められなかった。40~49 歳で受診者数上位 10 位以内の疾患の多くは 10 歳未満では症例無しの場合が多く、大半が成人以降の発症と考えられた。しかし、E039 甲状腺機能低下ミオパチーや I499 ペースメーカー調律は年齢が高くなるにつれて受診者数が増加しており、いわゆるキャリアオーバー患者も含まれると考えられた。その他の年齢階級もおおむね同様の傾向であり、M303 川崎病のように大半が 10 歳未満のみ認められる疾患と E780 家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)のように年齢が高くなるにつれて増加する疾患が混在していた。

表 9-1 に年齢別疾病小分類別点数合計上位 10 位(男)を示す。10 歳未満、10~19 歳では受診者数の多い J459 アレルギー性気管支炎が第 1 位であった。以後 J459 アレルギー性気管支炎は年齢が高くなるにつれて順位が低下する傾向であり、20 歳以降では第 2 位から第 4 位となっていた。20 歳以降の年齢階級では I499 ペースメーカー調律と N189 慢性腎不全が上位に位置する傾向が認められた。

D66 血友病 A は 10-19 歳と 20-29 歳で上位に位置しており、また、M303 川崎病が 10 歳未満で第 2 位であったことなど、年齢によって疾病が異なっていた。また、患者数や被保険者当たりの患者数が多い疾患が必ずしも点数総額が高いとは限らなかった。

表 9-2 に疾病小分類別点数合計上位 10 位までの疾患(女)を示す。受診者数の多い J459 アレルギー性気管支炎が第 1 位であった年齢

階級は10歳未満、10～19歳、30～39歳と男よりもJ459アレルギー性気管支炎の順位が高くなる傾向が認められた。20歳以降の年齢階級ではI499ペースメーカー調律とN189慢性腎不全が上位に位置する傾向は男と同様であった。また、E039甲状腺機能低下ミオパチーは女性の方が男性よりもいずれの年齢階級でも上位に位置する傾向が認められた。その他、E221高プロラクチン血症、E283原発性性腺機能低下症(女)、D391卵巣腫瘍のように性別によって点数総額の高い疾病が異なる傾向は明らかであった。20歳未満の年齢階級とは疾病の種類が異なっていることも男と同様であった。

表9-3に疾病小分類別点数合計上位10位までの疾患(合計)を示す。0～29歳まではJ459アレルギー性気管支炎が第1位であり、30～49歳ではN189慢性腎不全が第1位であった。I499ペースメーカー調律は10～49歳で第2位、E039甲状腺機能低下ミオパチーは20～49歳で第4位であり、10歳未満とは異なる傾向であった。30歳以上ではE039甲状腺機能低下ミオパチーとE780家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)が高く、10～29歳ではD66血友病Aが上位に認められた。10歳未満では先天性心疾患の点数が比較的高く、10歳以上の年齢階級とは大きく異なる傾向であった。

表9-4から表9-8にかけて各年齢階級の小分類別受診者点数合計上位10位以内の疾患について、性別に他の年齢階級別受診者数の推移を示す。M303川崎病は10歳未満にほとんどの医療費が発生しており、10歳以上ではごくわずかであった。E550ビタミンD依存性くる病やQ250動脈管開存症もほとんどの医療費が10歳未満で発生していた。しかし、D70遺伝性好中球減少症は10～19歳では若干

低下したものの30～49歳では10歳未満を超える医療費が発生していた。ほとんどの年齢階級で患者数の多いJ459アレルギー性気管支炎の医療費が上位に位置していた。10歳未満では症例が認められなかった疾病の医療費が、20歳以降において高くなる傾向があり、これらは成人以降の発症と考えられた。特に、40～49歳で第1位であったN189慢性腎不全は年齢階級が高くなるにつれて急激に増加していた。Q828 Bloom症候群は常染色体劣性の遺伝病であり、成人になって発症する疾病ではないが、年齢が高くなるにつれて発症する者の割合が非常に高いことが知られている。副傷病として何らかの癌が発症しているために医療費が高額になった可能性が考えられる。

表10-1に疾病小分類別受診者一人当たり点数上位10位までの疾患(男)を示す。10歳未満はN258家族性若年性ネフロン癆をはじめとする腎疾患やE752異染性白質ジストロフィーなどの先天代謝疾患、Q213ファロー四徴症などの先天性心疾患が受診者一人当たり点数で上位に位置する傾向が認められた。また、上位10位以内のいずれの疾患も5月単月分の受診者一人当たり点数は2万点を超えており、非常に高額な医療費を必要としていた。

10～19歳、20～29歳ではともに第1位はD66血友病Aであった。A811亜急性硬化性全脳炎は10～19歳で第3位、20～29歳で第9位であった。10～19歳では第9位、10位の疾患は5月単月分の受診者一人当たり点数は1万点未満であり、他の年齢階層と比較して非常に高額な医療費を必要とした者の割合は比較的小さいと考えられた。20～29歳のD66血友病Aは30～39歳で第6位、40～49歳で第3位であり、10～19歳、20～29歳よりは受診者一人当たりの点数は低いものの、依然として上位に位置していた。

A811 亜急性硬化性全脳炎は 30～39 歳の第 4 位であり、10～19 歳、20～29 歳と同様に上位に位置していることから、いわゆるキャリアオーバー患者の可能性が考えられた。その他にも、30～39 歳では先天性代謝異常である E720 イミノ酸異常症が第 2 位、40～49 歳では先天異常症候群である Q871 ヌーナン症候群が第 8 位に位置していた。

表 10-2 に疾病小分類別受診者一人当たり点数上位 10 位までの疾患（女）を示す。10 歳未満では男でそれぞれ第 2 位、8 位であった E752 異染性白質ジストロフィー、E550 ビタミン D 依存性くる病が第 1 位、第 4 位と男女に共通する疾患が存在していた。また、上位 10 位以内のいずれの疾患も 5 月単月分の受診者一人当たり点数は 2 万 5 千点を超過しており、非常に高額な医療費を必要としていたことは男と同様であった。

10～19 歳では第 1 位の C719 鞍上部腫瘍は単月で 20 万点以上と非常に高額となっていた。男と同様に、9 位及び 10 位の疾患は月 2 万点を下回っており、他の年齢階級と比較して非常に高額な医療費を必要とした者の割合は比較的小さいと考えられた。男と女で共通する疾患は上位 10 位以内には認められなかった。

20～29 歳では上位 10 位以内のいずれの疾患も 5 月単月分の受診者一人当たり点数は 3 万点を超過していたが、男よりは低い値であった。A811 亜急性硬化性全脳炎は第 8 位と男女で共通して上位 10 位以内に認められた。Q871 ヌーナン症候群が第 6 位であった。

30～39 歳では B24 エイズが男女とも共通に上位 10 位以内に認められた。男よりも遺伝性の疾患が上位 10 位以内に位置する傾向が強かった。40～49 歳では上位 10 位以内の疾患に男と共通するものは認められなかった。N180 移植腎が第 3 位、N189 慢性腎不全が第 6 位と

腎臓関連の疾患が上位に位置する傾向であった。

表 10-3 に疾病小分類別受診者一人当たり点数上位 10 位までの疾患（合計）を示す。年齢によって上位 10 位以内の疾患が変化することはこれまでと同様であった。男のみで上位 10 位以内であった D66 血友病 A は 10～19 歳、20～29 歳、30～39 歳で上位 10 位以内に認められ、20 歳以上でも高額な医療費を継続して必要としていると考えられた。同様に E880 アルファ 1-アンチトリプシン欠乏症は 10 歳未満と 30～39 歳で上位 10 位以内に認められた。E271 アジソン病及び N251 抗利尿ホルモン不応症は 30～39 歳と 40～49 歳では上位 10 位以内であったが、29 歳以下の年齢階級では上位 10 位以内には認められなかった。

表 10-4 から表 10-8 にかけて各年齢階級別の疾病小分類別受診者一人当たり点数の上位 10 位以内の疾患について、性別に他の年齢階級別受診者数の推移を示す。いずれの年齢階級でも上位に位置する疾病の大半はそれ以外の年齢階級では受診者そのものが認められなかった。10 歳未満の年齢階級で男の D693 血小板減少性紫斑病は受診者一人当たりの医療費は低下するものの、40～49 歳でも認められた。また、D70 遺伝性好中球減少症も 10 歳未満の年齢階級が最も受診者一人当たり点数は高額であるものの、いずれの年齢階級でも受診者は認められた。また、男の D66 血友病 A は 10 歳未満の年齢階級は 358 点と受診者一人当たりの医療費が比較的低い状況であったが、10 歳以上ではいずれの年齢階級でも男では受診者一人当たりの医療費が上位に位置していた。

D. 考察

本研究によって、いわゆるキャリアオーバー患

者といわれる 20 歳以上の小慢による受診状況の一部を明らかにすることができた。疾病の種類によっては、20 歳以降も継続して高額な医療費を必要とする状態にある者が一定数存在していることが明らかになった。

従来の小慢に関する調査は大学病院など、小慢を診療しているであろうと仮定した医療機関の特定の診療科に対して受診患者数などの調査票を送付するという形式か、小慢の申請書などを分析する形式で実施されていた。医療機関宛に対する調査では、医療機関の負担が無視できず、一部の医療機関のみから調査に協力が得られることとなり、国全体または特定の集団を対象における全数を把握することは不可能である。また、小慢の申請書による調査は 20 歳以上の者は本制度による公費負担が行われないために、小慢に該当する疾病を有する 20 歳以上の患者の実態を把握することは不可能であった。今回の調査は、保険診療であれば医療機関の届出に影響されることなく情報を得ることを可能にした点において、従来の調査の問題点を克服している。また、20 歳以上の者についても 19 歳以下の者と同様の情報を得ることを可能にしており、この点でも従来の小慢に関する調査では解明できなかった 20 歳以上のいわゆるキャリアオーバー患者の実態を把握した点でも注目に値する。さらに、小慢には非常に多くの疾病が該当しており、これらの全てについて医療機関に対して調査票を用いた調査を行った場合、調査に回答する医師は全ての疾患について対応していることは希である。通常は、専門分野の範囲内で一部の疾病に対応しているため、必ずしも全ての小慢に該当する疾患を有する患者の情報を漏れなく回答することは困難である。

本研究は電子化されたレセプトに記載された傷病名の全てを検索して網羅的に調査を実

施したことで、従来の調査より漏れの少ない結果を得ることができた。また、何らかの事情で ICD10 に対応付けされなかったいわゆる未コード化傷病名（コード:0000999）についても対応する自由記載欄に示されたテキストから傷病名を ICD10 に沿って分類しており、非常に多くの疾病が該当する小慢の状況をほぼ網羅していると考えられる。

疾病分類については、ICD10 の疾患小分類に沿って対象レセプトを抽出した後、疾患群毎に集計する上では ICD10 大分類と小慢の 11 告示疾患群の 2 種類を用いた。2 種類の分類を用いる場合の注意点として、カサバハ・メリット症候群のように小慢の 11 告示疾患群では血友病等血液疾患に分類されるが、ICD10 の大分類では新生物（ICD10 の疾患小分類コードは D18;C で始まるもの全てと D1~48 が新生物）に該当し、ICD10 大分類と小慢の 11 告示疾患群で異なるカテゴリに分類される疾患が存在する。なお、恩賜財団母子愛育会（事業管理部）による「小児慢性特定疾患早見表（登録管理用）平成 19 年度版」においては対象疾患ごとに ICD10 の疾患小分類コードが示されており、個別の疾患を把握する上での問題は存在しない。ICD10 大分類は人口動態統計や患者調査などで一般的かつ国際的に用いられており、関連する統計や諸外国との比較を行う場合に適している。小慢の 11 告示疾患群はよりわが国の小慢の臨床像に近い分類を行う場合に適していると考えられる。分析の目的に応じた適切な集計法を選択することで、より実態に即した結果を得ることが可能になる。

本研究は 2010 年 5 月診療分の電子化されたレセプトに記載された情報に基づくものであり、対象者が実際に小慢で医療費公費助成の対象であったかの確認は不可能である。小慢の判定はレセプトに記載された傷病名のみを用い

ており、糖尿病のように20歳以降になって新たに発症した疾病が含まれている。また、小慢の対象には重症度が勘案される疾病もあり、特にJ459アレルギー性気管支炎の多くは、実際には公費助成の対象外の可能性が高い。さらに、複数の傷病名で受診している場合は考慮されておらず、一部の遺伝性疾患のように心奇形などの疾病を併発する状況は十分考慮されていない。しかしながら、D66血友病Aなど、一度確定診断が行われれば、以後は長期間にわたって治療が継続すると考えられる疾患については、レセプトに記載される情報のみを用いて20歳以降の受診状況や医療費の実態を把握することに大きな問題は生じない。

重症度に関する診断基準が小慢の認定に採用されている疾患については、入院日数や行われた診療行為を考慮することによって、一定の範囲で統一することが可能になると考えられる。傷病名以外の情報を用いて小慢に該当する疾病の実態をより詳細に分析することは今後の課題である。

今回は疑い病名に対する考慮は行っていない。今回の調査の目的は20歳以降のいわゆるキャリアオーバー患者の実態を把握することであり、多くの遺伝性疾患のように、幼少期に確定診断が行われていると考えられる疾患を対象としている。20歳以上では既に確定診断が行われていると考えられ、疑い病名の影響を無視しても大きな影響はない。小慢に該当する傷病名が複数記載されたレセプトや疑い病名に関する分析をどのように行うかは、今後の課題である。

本研究は電子化されたレセプトのみを用いており、いわゆる紙媒体のレセプトは分析対象ではない。もっとも、小慢対象疾患のほとんどは大学病院など高度医療に対応した医療機関で治療されると考えられ、電子カルテやレセプ

トコンピュータがまったく導入されていない医療機関で小慢に該当する傷病名の患者が受診することはごく希であり、電子化されたレセプトのみを分析に用いたことによる問題は存在しない。

本研究はK県の国保被保険者のみを対象とした。我が国の国民皆保険制度では健康保険でカバーされる診療行為の内容は加入する保険によらず一律であるため、電子化されたレセプトの情報は被用者保険と同一である。しかし、被用者保険と国民健康保険加入者においては就労状況や所得構造が異なっている。特に国保は疾病によって就労不可能となった者が被用者保険を脱退した後に加入する場合があり、失業のために保険料そのものや自己負担分の支払いが困難な状況など、受診行動が被用者保険と異なる可能性がある。また、小慢の各疾患は非常に専門性が強く、特定の医療機関に全国から患者が集中している可能性も存在する。分析の対象を被用者保険やK県以外の地域に拡大することでより小慢のいわゆるキャリアオーバー患者の実態を明らかにすることが可能となる。今後、レセプトナショナルデータベースを用いた分析が行われれば、全国レベルで小慢の医療費公費助成の実態を明らかにすることができるため、より適正な公費助成を実施する上での根拠を入手することが可能となる。

E. 結論

小慢で医療費の公費助成を受けていたと考えられる疾病として、血友病等血液疾患等は20歳以降も継続して受診し、疾患によっては月3万点から20万点（医療費月額（10割）で30万円から200万円、自己負担は高額療養費制度による上限あり）という非常に高額な医療費が必要とされている実態が明らかになった。具体的には、男ではD66血友病Aや

D682 安定因子欠乏症の先天性の血液疾患が患者一人当たり月 200 万円弱の非常に高額な医療費となっていた。女では E162 特発性低血糖症や E880 アルファ 1-アンチトリプシン欠乏症などの内分泌・代謝疾患が患者一人当たり月 100 万円弱の非常に高額な医療費となっていた。また、全体では Q871 ヌーナン症候群などの先天性疾患が 40~49 歳でも月 50 万円以上の医療費となっていたことも明らかになった。

レセプトは特定の仮説に基づいた調査を実施するための調査票ではないが、小慢のように希少な疾患であっても医療機関からの届出に依存せずに把握が可能であることや医療費そのものについて直接の情報源として利用可能など、従来の調査では得られない有益な側面を有する。20 歳以上の新規発症者の情報を排除できないなどの課題はあるが、一部の疾患については、日本全体でのレセプトで把握することで、キャリアオーバー患者の実態を明らかにすることが可能になると考えられる。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

表1 2010年4月1日時点の性・年齢階級別被保険者数（50歳未満）

年齢階級	男	(%)	女	(%)	合計	(%)
0-9	18149	51.1%	17353	48.9%	35502	100.0%
10-19	22754	51.3%	21598	48.7%	44352	100.0%
20-29	25421	50.7%	24725	49.3%	50146	100.0%
30-39	29531	53.4%	25734	46.6%	55265	100.0%
40-49	29717	52.1%	27278	47.9%	56995	100.0%

表 2-1 2010 年 5 月診療分の年齢階級別被保険者 10 万人当たり小慢対象疾患を含む疾病大分類の受診者数 (男)

ICD10	傷病名	10 未満	10 代	20 代	30 代	40 代
A,B	感染症および寄生虫症	5.5	35.2	15.7	33.9	23.6
C,D48	新生物	33.1	22.0	23.6	47.4	235.6
D50-89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	93.7	65.9	51.1	91.4	131.2
E	内分泌,栄養および代謝疾患	517.9	329.6	275.4	751.8	1998.9
E00-07,15-35	内分泌障害 (再掲)	270.0	206.6	110.1	237.0	403.8
E10-14	糖尿病 (再掲)	0.0	8.8	55.1	132.1	487.9
E40-90	代謝障害 (再掲)	247.9	114.3	110.1	382.6	1107.1
F	精神および行動の障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
G	神経系の疾患	60.6	39.6	47.2	199.8	185.1
I	循環器系の疾患	99.2	123.1	204.6	606.1	1558.0
J	呼吸器系の疾患	11030.9	1924.9	578.3	900.7	888.4
K	消化器系の疾患	11.0	0.0	11.8	20.3	37.0
L	皮膚および皮下組織の疾患	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
M	筋骨格系および結合組織の疾患	148.8	4.4	7.9	10.2	20.2
N	尿路性器系の疾患	187.3	193.4	149.5	298.0	676.4
P	周産期に発生した病態	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q	先天奇形,変形および染色体異常	319.6	101.1	62.9	121.9	198.5
S,T	損傷,中毒およびその他の外因の影響	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注：H00-59 (眼および付属器の疾患)、H60-95 (耳および乳様突起の疾患)、O (妊娠,分娩および産じょく<褥>)、R (症状,徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの)、V,X,Y (傷病および死亡の外因)、Z (健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用)、U (特殊目的用コード) に該当する疾病は認められなかった。

表 2-2 2010 年 5 月診療分の年齢階級別被保険者 10 万人当たり 11 告示疾患群別に分類した場合の受診者数 (男)

告示疾患群	傷病名	10 未満	10 代	20 代	30 代	40 代
1	悪性新生物	16.5	8.8	7.9	23.7	158.2
2	慢性腎疾患	231.4	215.3	153.4	325.1	737.0
3	慢性呼吸器疾患	11075.0	1942.5	609.7	1093.8	1073.5
4	慢性心疾患	297.5	158.2	232.1	633.2	1591.7
5	内分泌疾患	270.0	228.5	125.9	250.6	437.5
6	膠原病	154.3	4.4	7.9	23.7	23.6
7	糖尿病	0.0	8.8	55.1	132.1	487.9
8	先天性代謝異常	209.4	96.7	106.2	372.5	1100.4
9	血友病等血液疾患	220.4	136.2	90.5	203.2	299.5
10	神経・筋疾患	22.0	30.8	23.6	13.5	10.1
11	慢性消化器疾患	11.0	8.8	15.7	10.2	33.7

注：10 歳未満の 7:糖尿病に該当する疾病は認められなかった。(レセプトに複数の小慢対象疾患名が記載されている場合は、主傷病を記載 (主傷病が複数存在する場合は先頭に近い位置に記載されているものを選択したため、慢性腎疾患等に計上される場合がある。)

表 3-1 2010 年 5 月診療分の年齢階級別被保険者 10 万人当たり小慢対象疾患を含む疾病大分類別受診者数 (女)

ICD10	傷病名	10 未満	10 代	20 代	30 代	40 代
A,B	感染症および寄生虫症	0.0	18.5	12.1	7.8	18.3
C,D48	新生物	51.9	74.1	331.6	563.5	645.2
D50-89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	149.8	78.7	56.6	136.0	168.6
E	内分泌,栄養および代謝疾患	507.1	476.9	1249.7	2354.9	2888.8
E00-07,15-35	内分泌障害 (再掲)	316.9	402.8	1140.5	1911.9	1873.3
E10-14	糖尿病 (再掲)	11.5	18.5	24.3	101.0	172.3
E40-90	代謝障害 (再掲)	178.6	55.6	84.9	342.0	843.2
F	精神および行動の障害	0.0	0.0	8.1	0.0	11.0
G	神経系の疾患	51.9	13.9	24.3	35.0	58.7
I	循環器系の疾患	109.5	162.1	186.0	450.8	1004.5
J	呼吸器系の疾患	9191.5	1467.7	772.5	1367.8	1382.1
K	消化器系の疾患	0.0	0.0	4.0	0.0	18.3
L	皮膚および皮下組織の疾患	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0
M	筋骨格系および結合組織の疾患	51.9	4.6	40.4	77.7	117.3
N	尿路性器系の疾患	167.1	189.8	105.2	209.8	465.6
P	周産期に発生した病態	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0
Q	先天奇形,変形および染色体異常	259.3	138.9	84.9	202.1	198.0
S,T	損傷,中毒およびその他の外因の影響	5.8	0.0	0.0	7.8	18.3

注：H00-59 (眼および付属器の疾患)、H60-95 (耳および乳様突起の疾患)、O (妊娠,分娩および産じょく<褥>)、R (症状,徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの)、V,X,Y (傷病および死亡の外因)、Z (健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用)、U (特殊目的用コード) に該当する疾病は認められなかった。

表 3-2 2010 年 5 月診療分の年齢階級別被保険者 10 万人当たり 11 告示疾患群別に分類した場合の小児慢性特定疾患受診者数 (女)

告示疾患群	傷病名	10 未満	10 代	20 代	30 代	40 代
1	悪性新生物	5.8	18.5	48.5	147.7	242.0
2	慢性腎疾患	207.5	208.4	125.4	256.5	491.2
3	慢性呼吸器疾患	9208.8	1477.0	776.5	1383.4	1429.7
4	慢性心疾患	299.7	199.1	206.3	481.9	1030.1
5	内分泌疾患	334.2	439.9	1407.5	2300.5	2217.9
6	膠原病	51.9	4.6	40.4	73.8	124.6
7	糖尿病	11.5	18.5	24.3	101.0	172.3
8	先天性代謝異常	155.6	41.7	84.9	349.7	854.2
9	血友病等血液疾患	230.5	194.5	121.3	299.2	384.9
10	神経・筋疾患	40.3	13.9	36.4	19.4	29.3
11	慢性消化器疾患	5.8	9.3	8.1	0.0	18.3

注：30 代の 11:慢性消化器疾患に該当する疾病は認められなかった。

表4 2010年5月診療分の年齢階級別被保険者10万人当たり小慢対象疾患を含む疾病大分類別受診者数(合計)

ICD10	傷病名	10未満	10代	20代	30代	40代
A,B	感染症および寄生虫症	2.8	27.1	14.0	21.7	21.1
C,D48	新生物	42.3	47.3	175.5	287.7	431.6
D50-89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	121.1	72.2	53.8	112.2	149.1
E	内分泌,栄養および代謝疾患	512.6	401.3	755.8	1498.2	2424.8
E00-07,15-35	内分泌障害(再掲)	292.9	302.1	618.2	1016.9	1107.1
E10-14	糖尿病(再掲)	5.6	13.5	39.9	117.6	336.9
E40-90	代謝障害(再掲)	214.1	85.7	97.7	363.7	980.8
F	精神および行動の障害	0.0	0.0	4.0	0.0	5.3
G	神経系の疾患	56.3	27.1	35.9	123.0	124.6
I	循環器系の疾患	104.2	142.0	195.4	533.8	1293.1
J	呼吸器系の疾患	10131.8	1702.3	674.0	1118.2	1124.7
K	消化器系の疾患	5.6	0.0	8.0	10.9	28.1
L	皮膚および皮下組織の疾患	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0
M	筋骨格系および結合組織の疾患	101.4	4.5	23.9	41.6	66.7
N	尿路性器系の疾患	177.5	191.6	127.6	256.9	575.5
P	周産期に発生した病態	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0
Q	先天奇形,変形および染色体異常	290.1	119.5	73.8	159.2	198.3
S,T	損傷,中毒およびその他の外因の影響	2.8	0.0	0.0	3.6	8.8

注: H00-59(眼および付属器の疾患)、H60-95(耳および乳様突起の疾患)、O(妊娠,分娩および産じょく<褥>)、R(症状,徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの)、V,X,Y(傷病および死亡の外因)、Z(健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用)、U(特殊目的用コード)に該当する疾病は認められなかった。

表4-2 2010年5月診療分の年齢階級別被保険者10万人当たり11告示疾患群別に分類した場合の小児慢性特定疾患受診者数(合計)

告示疾患群	傷病名	10未満	10代	20代	30代	40代
1	悪性新生物	11.3	13.5	27.9	81.4	198.3
2	慢性腎疾患	219.7	211.9	139.6	293.1	619.4
3	慢性呼吸器疾患	10162.8	1715.8	692.0	1228.6	1244.0
4	慢性心疾患	298.6	178.1	219.4	562.7	1322.9
5	内分泌疾患	301.4	331.4	757.8	1205.1	1289.6
6	膠原病	104.2	4.5	23.9	47.0	71.9
7	糖尿病	5.6	13.5	39.9	117.6	336.9
8	先天性代謝異常	183.1	69.9	95.7	361.9	982.5
9	血友病等血液疾患	225.3	164.6	105.7	247.9	340.4
10	神経・筋疾患	31.0	22.5	29.9	16.3	19.3
11	慢性消化器疾患	8.5	9.0	12.0	5.4	26.3

表 5-1 2010 年 5 月診療分の年齢階級別小慢対象疾患を含む疾病大分類別受診者一人当たり点数 (男)

ICD10	傷病名	10 未満	10 代	20 代	30 代	40 代
A,B	感染症および寄生虫症	560.0	9643.9	35883.5	39308.3	17588.0
C,D48	新生物	1713.7	1341.6	37561.0	4203.8	14332.3
D50-89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	5244.1	31540.3	51226.2	8054.0	17621.7
E	内分泌,栄養および代謝疾患	9754.8	3557.7	11024.9	8071.7	7713.8
E00-07,15-35	内分泌障害 (再掲)	6226.2	4722.9	17458.3	9673.6	7383.1
E10-14	糖尿病 (再掲)	-	1902.5	7325.1	5237.6	14178.7
E40-90	代謝障害 (再掲)	13597.0	1578.6	6441.5	8057.5	4985.2
F	精神および行動の障害	-	-	-	-	-
G	神経系の疾患	6302.5	6133.7	15934.5	5764.6	4932.0
I	循環器系の疾患	17606.7	5985.0	24086.4	15170.1	8134.2
J	呼吸器系の疾患	1088.0	1205.5	3562.0	1713.2	5160.9
K	消化器系の疾患	561.0	-	1683.0	13570.3	12098.1
L	皮膚および皮下組織の疾患	-	-	-	-	-
M	筋骨格系および結合組織の疾患	14462.6	779.0	1453.0	4945.7	605.5
N	尿路性器系の疾患	14944.8	1648.4	14895.3	17776.8	23515.2
P	周産期に発生した病態	-	-	-	-	-
Q	先天奇形,変形および染色体異常	9039.1	4466.2	9955.9	15220.1	11647.3
S,T	損傷,中毒およびその他の外因の影響	-	-	-	-	-

注：10 歳未満の E10-14:糖尿病 (再掲) に該当する疾病は認められなかった。

H00-59 (眼および付属器の疾患)、H60-95 (耳および乳様突起の疾患)、O (妊娠,分娩および産じょく<褥>)、R (症状,徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの)、V,X,Y (傷病および死亡の外因)、Z (健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用)、U (特殊目的用コード) に該当する疾病は認められなかった。

表 5-2 2010 年 5 月診療分の年齢階級別 11 告示疾患群別に分類した場合の受診者一人当たり点数 (男)

告示疾患群	傷病名	10 未満	10 代	20 代	30 代	40 代
1	悪性新生物	2784.0	402.5	39619.5	7377.3	16949.0
2	慢性腎疾患	12567.9	2374.9	14538.3	15891.6	22118.8
3	慢性呼吸器疾患	1115.2	1209.5	3454.4	2279.4	4965.7
4	慢性心疾患	15120.1	5384.7	22137.4	15882.1	8015.2
5	内分泌疾患	6226.2	4428.7	15367.3	9964.3	8813.0
6	膠原病	13952.5	779.0	1453.0	7913.9	696.1
7	糖尿病	-	1902.5	7325.1	5237.6	14178.7
8	先天性代謝異常	15886.9	1642.0	8596.8	8103.1	4884.6
9	血友病等血液疾患	2351.8	14579.8	40059.4	13542.8	14581.5
10	神経・筋疾患	1900.0	23043.9	43863.8	38941.5	32270.7
11	慢性消化器疾患	5048.5	10341.5	1379.0	13666.7	13183.9

注：10 歳未満の 7:糖尿病に該当する疾病は認められなかった。(レセプトに複数の小慢対象疾患名が記載されている場合は、主傷病を記載 (主傷病が複数存在する場合は先頭に近い位置に記載されているものを選択したため、慢性腎疾患等に計上される場合がある。)

表 6-1 2010 年 5 月診療分の年齢階級別小慢対象疾患を含む疾病大分類別受診者一人当たり点数 (女)

ICD10	傷病名	10 未満	10 代	20 代	30 代	40 代
A,B	感染症および寄生虫症	-	1675.3	21823.0	17954.0	5215.8
C,D48	新生物	1039.8	13975.0	6629.3	2517.9	4925.0
D50-89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	18194.2	4399.0	6631.7	18548.9	9030.6
E	内分泌,栄養および代謝疾患	14158.8	4131.9	5263.0	4465.6	5625.8
E00-07,15-35	内分泌障害 (再掲)	4515.7	4257.8	4880.8	3202.7	5309.2
E10-14	糖尿病 (再掲)	3436.5	9751.0	19543.3	7896.4	4043.4
E40-90	代謝障害 (再掲)	31959.2	1345.5	6314.5	10512.7	6652.7
F	精神および行動の障害	-	-	25966.0	-	51739.0
G	神経系の疾患	1713.3	12411.0	20235.3	14949.1	11397.1
I	循環器系の疾患	5584.2	14971.4	7885.2	8142.3	7929.0
J	呼吸器系の疾患	1132.8	2187.0	2124.4	2720.0	2815.2
K	消化器系の疾患	-	-	1248.0	-	1906.4
L	皮膚および皮下組織の疾患	-	-	289.0	-	-
M	筋骨格系および結合組織の疾患	17973.0	318.0	5603.2	6173.2	1931.1
N	尿路性器系の疾患	3535.8	4032.2	11253.2	12295.6	21772.8
P	周産期に発生した病態	358.0	-	-	-	-
Q	先天奇形,変形および染色体異常	13385.9	944.1	3894.5	6037.0	8651.7
S,T	損傷,中毒およびその他の外因の影響	420.0	-	-	438.0	644.2

注：H00-59 (眼および付属器の疾患)、H60-95 (耳および乳様突起の疾患)、O (妊娠,分娩および産じょく<褥>)、R (症状,徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの)、V,X,Y (傷病および死亡の外因)、Z (健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用)、U (特殊目的用コード) に該当する疾病は認められなかった。

表 6-2 2010 年 5 月診療分の年齢階級別 11 告示疾患群別に分類した場合の受診者一人当たり点数 (女)

告示疾患群	傷病名	10 未満	10 代	20 代	30 代	40 代
1	悪性新生物	70.0	52493.3	10507.7	3286.3	9547.6
2	慢性腎疾患	4190.7	3718.9	9560.9	10585.9	20689.7
3	慢性呼吸器疾患	1131.3	2275.9	2431.3	2803.0	2967.0
4	慢性心疾患	12863.8	12541.5	7458.6	8266.2	8035.6
5	内分泌疾患	4755.9	3998.4	4700.5	3224.5	4818.1
6	膠原病	17973.0	318.0	5603.2	3269.3	1948.7
7	糖尿病	3436.5	9751.0	19543.3	7896.4	4043.4
8	先天性代謝異常	36475.1	1537.8	6254.6	10955.0	6559.0
9	血友病等血液疾患	11290.8	2298.2	11103.6	10423.1	7541.9
10	神経・筋疾患	2118.9	1761.7	17401.2	16757.4	38027.1
11	慢性消化器疾患	770.0	855.0	1069.0	-	1296.4

注：30 歳代の 11:慢性消化器疾患に該当する疾病は認められなかった。

表 7-1 2010 年 5 月診療分の年齢階級別小慢対象疾患を含む疾病大分類別受診者一人当たり点数
(合計)

ICD10	傷病名	10 未満	10 代	20 代	30 代	40 代
A,B	感染症および寄生虫症	-	1675.3	21823.0	17954.0	5215.8
C,D48	新生物	1039.8	13975.0	6629.3	2517.9	4925.0
D50-89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	18194.2	4399.0	6631.7	18548.9	9030.6
E	内分泌,栄養および代謝疾患	14158.8	4131.9	5263.0	4465.6	5625.8
E00-07,15-35	内分泌障害 (再掲)	5321.6	4421.0	6016.9	4008.7	5703.6
E10-14	糖尿病 (再掲)	3436.5	7134.8	10990.6	6301.1	11697.7
E40-90	代謝障害 (再掲)	21086.9	1505.0	6387.1	9132.4	5671.3
F	精神および行動の障害	-	-	25966.0	-	51739.0
G	神経系の疾患	1713.3	12411.0	20235.3	14949.1	11397.1
I	循環器系の疾患	5584.2	14971.4	7885.2	8142.3	7929.0
J	呼吸器系の疾患	1132.8	2187.0	2124.4	2720.0	2815.2
K	消化器系の疾患	-	-	1248.0	-	1906.4
L	皮膚および皮下組織の疾患	-	-	289.0	-	-
M	筋骨格系および結合組織の疾患	17973.0	318.0	5603.2	6173.2	1931.1
N	尿路性器系の疾患	3535.8	4032.2	11253.2	12295.6	21772.8
P	周産期に発生した病態	358.0	-	-	-	-
Q	先天奇形,変形および染色体異常	13385.9	944.1	3894.5	6037.0	8651.7
S,T	損傷,中毒およびその他の外因の影響	420.0	-	-	438.0	644.2

注：H00-59 (眼および付属器の疾患)、H60-95 (耳および乳様突起の疾患)、O (妊娠,分娩および産じょく<褥>)、R (症状,徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの)、V,X,Y (傷病および死亡の外因)、Z (健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用)、U (特殊目的用コード) に該当する疾病は認められなかった。

表 7-2 2010 年 5 月診療分の年齢階級別 11 告示疾患群別に分類した場合の受診者一人当たり点数 (合計)

告示疾患群	傷病名	10 未満	10 代	20 代	30 代	40 代
1	悪性新生物	2105.5	35129.7	14666.5	3922.7	12626.1
2	慢性腎疾患	8701.5	3018.3	12334.0	13730.0	21576.3
3	慢性呼吸器疾患	1122.3	1656.5	2888.3	2553.9	3866.2
4	慢性心疾患	14013.3	9280.2	15331.8	12845.6	8022.8
5	内分泌疾患	5429.2	4150.6	5598.7	3973.4	5524.7
6	膠原病	14930.5	548.5	4911.5	4519.7	1734.9
7	糖尿病	3436.5	7134.8	10990.6	6301.1	11697.7
8	先天性代謝異常	24438.9	1611.7	7572.1	9386.5	5581.3
9	血友病等血液疾患	6821.3	7513.7	23669.3	11789.4	10771.4
10	神経・筋疾患	2039.3	16659.2	27986.3	26617.0	36457.2
11	慢性消化器疾患	3622.3	5598.3	1275.7	13666.7	9221.4

表 8-1 年齢階級別疾病小分類別受診者数（上位 10 位まで）（男）

年齢階級	ICD10 コード	疾患名	受診者数	
10 未満	J459	アレルギー性気管支炎	2,002	
	M303	川崎病	27	
	N059	硬化性糸球体腎炎	17	
	E162	特発性低血糖症	15	
	Q828	Bloom 症候群	14	
	Q210	右室二腔症	12	
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	11	
	Q211	心房中隔欠損症	11	
	E722	アルギニノコハク酸尿症	10	
	E739	乳糖吸収不全症	10 未満	
10-19 歳	J459	アレルギー性気管支炎	436	
	N059	硬化性糸球体腎炎	21	
	E230	下垂体機能低下症	17	
	E722	アルギニノコハク酸尿症	14	
	Q828	Bloom 症候群	10	
	E162	特発性低血糖症	10 未満	
	N133	水腎症	10 未満	
	E343	ソマトメジン不応症	10 未満	
	Q210	右室二腔症	10 未満	
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	10 未満	
	B279	慢性活動性 E B ウイルス感染(症)	10 未満	
	20-29	J459	アレルギー性気管支炎	146
		I499	ペースメーカー調律	15
I209		狭心症	11	
E780		家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	10	
N189		慢性腎不全	10	
E722		アルギニノコハク酸尿症	10 未満	
E039		甲状腺機能低下ミオパチー	10 未満	
G473		先天性中枢性低換気症候群	10 未満	
N049		先天性ネフローゼ症候群	10 未満	
E144		糖尿病性ニューロパチー	10 未満	
30-39		J459	アレルギー性気管支炎	260
		E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	66
		G473	先天性中枢性低換気症候群	57
	I499	ペースメーカー調律	49	
	I209	狭心症	32	
	N189	慢性腎不全	31	
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	30	
	I509	慢性心不全	30	
	E722	アルギニノコハク酸尿症	23	
	I517	心筋炎後の心肥大	19	
40-49	J459	アレルギー性気管支炎	256	
	E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	245	
	I209	狭心症	115	
	I499	ペースメーカー調律	106	
	N189	慢性腎不全	91	
	E142	糖尿病性糸球体硬化症	80	
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	60	
	G473	先天性中枢性低換気症候群	54	
	I509	慢性心不全	44	

(注) 集計結果が 10 未満となった疾病は、最小集計単位の原則から具体的な計数を記入していない。

表 8-2 年齢階級別疾病小分類別受診者数（上位 10 位まで）（女）

年齢階級	ICD10 コード	疾患名	受診者数
10 未満	J459	アレルギー性気管支炎	1,595
	N059	硬化性糸球体腎炎	25
	E162	特発性低血糖症	18
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	12
	E343	ソマトメジン不応症	11
	Q210	右室二腔症	10
	M303	川崎病	10 未満
	D70	遺伝性好中球減少症	10 未満
	E550	ビタミンD依存性くる病	10 未満
	E739	乳糖吸収不全症	10 未満
	Q828	Bloom 症候群	10 未満
10-19 歳	J459	アレルギー性気管支炎	316
	E283	原発性性腺機能低下症(女)	31
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	20
	N059	硬化性糸球体腎炎	19
	Q828	Bloom 症候群	18
	I499	ペースメーカー調律	14
	E050	甲状腺機能亢進症	10 未満
	D391	卵巣腫瘍	10 未満
	N028	IgA 腎症	10 未満
	N133	水腎症	10 未満
	20-29	J459	アレルギー性気管支炎
E283		原発性性腺機能低下症(女)	172
D391		卵巣腫瘍	63
E221		高プロラクチン血症	33
E039		甲状腺機能低下ミオパチー	31
E050		甲状腺機能亢進症	20
I499		ペースメーカー調律	19
Q828		Bloom 症候群	10
E722		アルギニノコハク酸尿症	10 未満
I209		狭心症	10 未満
30-39		J459	アレルギー性気管支炎
	E283	原発性性腺機能低下症(女)	268
	D391	卵巣腫瘍	96
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	88
	E221	高プロラクチン血症	75
	E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	42
	E050	甲状腺機能亢進症	33
	I499	ペースメーカー調律	32
	Q828	Bloom 症候群	31
	I209	狭心症	29
	40-49	J459	アレルギー性気管支炎
E283		原発性性腺機能低下症(女)	201
E780		家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	165
E039		甲状腺機能低下ミオパチー	155
D391		卵巣腫瘍	89
I499		ペースメーカー調律	71
E221		高プロラクチン血症	68
N189		慢性腎不全	63
I209		狭心症	54
I509		慢性心不全	41

(注) 集計結果が 10 未満となった疾病は、最小集計単位の原則から具体的な計数を記入していない。

表 8-3 年齢階級別疾病小分類別受診者数（上位 10 位まで）（合計）

年齢階級	ICD10 コード	疾患名	受診者数	
10 未満	J459	アレルギー性気管支炎	3,597	
	N059	硬化性糸球体腎炎	42	
	M303	川崎病	36	
	E162	特発性低血糖症	33	
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	23	
	Q210	右室二腔症	22	
	Q828	Bloom 症候群	21	
	E343	ソマトメジン不応症	19	
	E722	アルギニノコハク酸尿症	16	
	E739	乳糖吸収不全症	16	
	Q211	心房中隔欠損症	16	
10-19 歳	J459	アレルギー性気管支炎	752	
	N059	硬化性糸球体腎炎	40	
	E283	原発性性腺機能低下症(女)	31	
	Q828	Bloom 症候群	28	
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	26	
	E722	アルギニノコハク酸尿症	19	
	I499	ペースメーカー調律	19	
	E230	下垂体機能低下症	18	
	N133	水腎症	13	
	E343	ソマトメジン不応症	11	
	20-29	J459	アレルギー性気管支炎	336
E283		原発性性腺機能低下症(女)	172	
D391		卵巣腫瘍	63	
E039		甲状腺機能低下ミオパチー	40	
I499		ペースメーカー調律	34	
E221		高プロラクチン血症	34	
E050		甲状腺機能亢進症	21	
I209		狭心症	18	
E722		アルギニノコハク酸尿症	17	
E780		家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	15	
N189		慢性腎不全	15	
30-39		J459	アレルギー性気管支炎	607
		E283	原発性性腺機能低下症(女)	268
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	118	
	E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	108	
	D391	卵巣腫瘍	96	
	E221	高プロラクチン血症	85	
	I499	ペースメーカー調律	81	
	I209	狭心症	61	
	G473	先天性中枢性低換気症候群	61	
	N189	慢性腎不全	46	
	Q828	Bloom 症候群	46	
	40-49	J459	アレルギー性気管支炎	627
		E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	410
E039		甲状腺機能低下ミオパチー	215	
E283		原発性性腺機能低下症(女)	201	
I499		ペースメーカー調律	177	
I209		狭心症	169	
N189		慢性腎不全	154	
E142		糖尿病性糸球体硬化症	103	
D391		卵巣腫瘍	89	
I509		慢性心不全	85	

(注) 集計結果が 10 未満となった疾病は、最小集計単位の原則から具体的な計数を記入していない。

表 8-4 : 性・年齢階級別小分類別受診者数の推移 (10 歳未満で受診者数上位 10 位以内の疾患)

	ICD10	疾患名	10 未満	10 代	20 代	30 代	40 代
男	J459	アレルギー性気管支炎	2002	436	146	260	256
	M303	川崎病	27	症例なし	症例なし	症例なし	症例なし
	N059	硬化性糸球体腎炎	17	21	10 未満	10 未満	17
	E162	特発性低血糖症	15	10 未満	10 未満	10 未満	10 未満
	Q828	Bloom 症候群	14	10	10 未満	15	24
	Q210	右室二腔症	12	10 未満	10 未満	10 未満	10 未満
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	11	10 未満	10 未満	30	60
	Q211	心房中隔欠損症	11	症例なし	症例なし	10 未満	10 未満
	E722	アルギニノコハク酸尿症	10	14	10 未満	23	32
	E739	乳糖吸収不全症	10 未満	症例なし	症例なし	症例なし	10 未満
	J459	アレルギー性気管支炎	2002	436	146	260	256
女	J459	アレルギー性気管支炎	1595	316	190	347	371
	N059	硬化性糸球体腎炎	25	19	10 未満	10 未満	13
	E162	特発性低血糖症	18	10 未満	10 未満	10 未満	10 未満
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	12	20	31	88	155
	E343	ソマトメジン不応症	11	10 未満	症例なし	症例なし	症例なし
	Q210	右室二腔症	10	10 未満	10 未満	10 未満	10 未満
	M303	川崎病	10 未満	10 未満	症例なし	症例なし	症例なし
	E550	ビタミンD依存性くる病	10 未満	症例なし	症例なし	症例なし	症例なし
	D70	遺伝性好中球減少症	10 未満	10 未満	10 未満	13	10
	Q828	Bloom 症候群	10 未満	18	10	31	36
	J459	アレルギー性気管支炎	1595	316	190	347	371
	合計	J459	アレルギー性気管支炎	3597	752	336	607
N059		硬化性糸球体腎炎	42	40	10 未満	14	30
M303		川崎病	36	10 未満	症例なし	症例なし	症例なし
E162		特発性低血糖症	33	10 未満	10 未満	11	11
E039		甲状腺機能低下ミオパチー	23	26	40	118	215
Q210		右室二腔症	22	10 未満	10 未満	10	10 未満
Q828		Bloom 症候群	21	28	13	46	60
E343		ソマトメジン不応症	19	11	10 未満	10 未満	症例なし
E739		乳糖吸収不全症	16	症例なし	症例なし	10 未満	10 未満
E722		アルギニノコハク酸尿症	16	19	17	40	50

(注) 集計結果が 10 未満となった疾病は、最小集計単位の原則から具体的な計数を記入していない。

表 8-5 : 性・年齢階級別小分類別受診者数の推移 (10~19 歳で受診者数上位 10 位以内の疾患)

	ICD10	疾患名	10 未満	10 代	20 代	30 代	40 代
男	J459	アレルギー性気管支炎	2002	436	146	260	256
	N059	硬化性糸球体腎炎	17	21	10 未満	10 未満	17
	E230	下垂体機能低下症	10 未満	17	10 未満	10 未満	10 未満
	E722	アルギニノコハク酸尿症	10	14	10 未満	23	32
	Q828	Bloom 症候群	14	10	10 未満	15	24
	E162	特発性低血糖症	15	10 未満	10 未満	10 未満	10 未満
	E343	ソマトメジン不応症	10 未満	10 未満	10 未満	10 未満	症例なし
	N133	水腎症	10 未満	10 未満	10 未満	10 未満	11
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	11	10 未満	10 未満	30	60
	Q210	右室二腔症	12	10 未満	10 未満	10 未満	10 未満
女	J459	アレルギー性気管支炎	1595	316	190	347	371
	E283	原発性性腺機能低下症(女)	症例なし	31	172	268	201
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	12	20	31	88	155
	N059	硬化性糸球体腎炎	25	19	10 未満	10 未満	13
	Q828	Bloom 症候群	10 未満	18	10	31	36
	I499	ペースメーカー調律	10 未満	14	19	32	71
	E050	甲状腺機能亢進症	10 未満	10 未満	20	33	40
	D391	卵巣腫瘍	症例なし	10 未満	63	96	89
	N133	水腎症	10 未満	10 未満	10 未満	10 未満	10 未満
	N028	IgA 腎症	10 未満	10 未満	10 未満	10 未満	10 未満
合計	J459	アレルギー性気管支炎	3597	752	336	607	627
	N059	硬化性糸球体腎炎	42	40	10 未満	14	30
	E283	原発性性腺機能低下症(女)	症例なし	31	172	268	201
	Q828	Bloom 症候群	21	28	13	46	60
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	23	26	40	118	215
	I499	ペースメーカー調律	10 未満	19	34	81	177
	E722	アルギニノコハク酸尿症	16	19	17	40	50
	E230	下垂体機能低下症	10 未満	18	10 未満	10 未満	10 未満
	N133	水腎症	10	13	10 未満	16	18
	E343	ソマトメジン不応症	19	11	10 未満	10 未満	症例なし

(注) 集計結果が 10 未満となった疾病は、最小集計単位の原則から具体的な計数を記入していない。

表 8-6 : 性・年齢階級別小分類別受診者数の推移 (20~29 歳で受診者数上位 10 位以内の疾患)

	ICD10	疾患名	10 未満	10 代	20 代	30 代	40 代
男	J459	アレルギー性気管支炎	2002	436	146	260	256
	I499	ペースメーカー調律	10 未満	10 未満	15	49	106
	I209	狭心症	症例なし	10 未満	11	32	115
	E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	症例なし	10 未満	10	66	245
	N189	慢性腎不全	10 未満	10 未満	10	31	91
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	11	10 未満	10 未満	30	60
	E722	アルギニノコハク酸尿症	10	14	10 未満	23	32
	G473	先天性中枢性低換気症候群	10 未満	10 未満	10 未満	57	54
	N049	先天性ネフローゼ症候群	10 未満	10 未満	10 未満	10 未満	14
	E144	糖尿病性ニューロパチー	症例なし	症例なし	10 未満	13	37
女	J459	アレルギー性気管支炎	1595	316	190	347	371
	E283	原発性性腺機能低下症(女)	症例なし	31	172	268	201
	D391	卵巣腫瘍	症例なし	10 未満	63	96	89
	E221	高プロラクチン血症	10 未満	10 未満	33	75	68
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	12	20	31	88	155
	E050	甲状腺機能亢進症	10 未満	10 未満	20	33	40
	I499	ペースメーカー調律	10 未満	14	19	32	71
	Q828	Bloom 症候群	10 未満	18	10	31	36
	E722	アルギニノコハク酸尿症	10 未満	10 未満	10 未満	17	18
	I209	狭心症	症例なし	10 未満	10 未満	29	54
合計	J459	アレルギー性気管支炎	3597	752	336	607	627
	E283	原発性性腺機能低下症(女)	症例なし	31	172	268	201
	D391	卵巣腫瘍	症例なし	10 未満	63	96	89
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	23	26	40	118	215
	E221	高プロラクチン血症	10 未満	10 未満	34	85	79
	I499	ペースメーカー調律	10 未満	19	34	81	177
	E050	甲状腺機能亢進症	10 未満	10	21	43	57
	I209	狭心症	症例なし	10 未満	18	61	169
	E722	アルギニノコハク酸尿症	16	19	17	40	50
	E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	症例なし	10 未満	15	108	410

(注) 集計結果が 10 未満となった疾病は、最小集計単位の原則から具体的な計数を記入していない。

表 8-7 : 性・年齢階級別小分類別受診者数の推移 (30~39 歳で受診者数上位 10 位以内の疾患)

	ICD10	疾患名	10 未満	10 代	20 代	30 代	40 代
男	J459	アレルギー性気管支炎	2002	436	146	260	256
	E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	症例なし	10 未満	10	66	245
	G473	先天性中枢性低換気症候群	10 未満	10 未満	10 未満	57	54
	I499	ペースメーカー調律	10 未満	10 未満	15	49	106
	I209	狭心症	症例なし	10 未満	11	32	115
	N189	慢性腎不全	10 未満	10 未満	10	31	91
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	11	10 未満	10 未満	30	60
	I509	慢性心不全	10 未満	10 未満	10 未満	30	44
	E722	アルギニノコハク酸尿症	10	14	10 未満	23	32
	I517	心筋炎後の心肥大	症例なし	症例なし	10 未満	19	43
女	J459	アレルギー性気管支炎	1595	316	190	347	371
	E283	原発性性腺機能低下症(女)	症例なし	31	172	268	201
	D391	卵巣腫瘍	症例なし	10 未満	63	96	89
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	12	20	31	88	155
	E221	高プロラクチン血症	10 未満	10 未満	33	75	68
	E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	症例なし	10 未満	10 未満	42	165
	E050	甲状腺機能亢進症	10 未満	10 未満	20	33	40
	I499	ペースメーカー調律	10 未満	14	19	32	71
	Q828	Bloom 症候群	10 未満	18	10	31	36
	I209	狭心症	症例なし	10 未満	10 未満	29	54
合計	J459	アレルギー性気管支炎	3597	752	336	607	627
	E283	原発性性腺機能低下症(女)	症例なし	31	172	268	201
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	23	26	40	118	215
	E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	症例なし	10 未満	15	108	410
	D391	卵巣腫瘍	症例なし	10 未満	63	96	89
	E221	高プロラクチン血症	10 未満	10 未満	34	85	79
	I499	ペースメーカー調律	8	19	34	81	177
	I209	狭心症	症例なし	10 未満	18	61	169
	G473	先天性中枢性低換気症候群	10	10 未満	10 未満	61	67
	Q828	Bloom 症候群	21	28	13	46	60

(注) 集計結果が 10 未満となった疾病は、最小集計単位の原則から具体的な計数を記入していない。

表 8-8 : 性・年齢階級別小分類別受診者数の推移 (40~49 歳で受診者数上位 10 位以内の疾患)

	ICD10	疾患名	10 未満	10 代	20 代	30 代	40 代
男	J459	アレルギー性気管支炎	2002	436	146	260	256
	E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	症例なし	10 未満	10	66	245
	I209	狭心症	症例なし	10 未満	11	32	115
	I499	ペースメーカー調律	10 未満	10 未満	15	49	106
	N189	慢性腎不全	10 未満	10 未満	10	31	91
	E142	糖尿病性糸球体硬化症	症例なし	10 未満	10 未満	15	80
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	11	10 未満	10 未満	30	60
	G473	先天性中枢性低換気症候群	10 未満	10 未満	10 未満	57	54
	I509	慢性心不全	10 未満	10 未満	10 未満	30	44
	I517	心筋炎後の心肥大	症例なし	症例なし	10 未満	19	43
女	J459	アレルギー性気管支炎	1595	316	190	347	371
	E283	原発性性腺機能低下症(女)	症例なし	31	172	268	201
	E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	症例なし	10 未満	10 未満	42	165
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	12	20	31	88	155
	D391	卵巣腫瘍	症例なし	10 未満	63	96	89
	I499	ペースメーカー調律	10 未満	14	19	32	71
	E221	高プロラクチン血症	10 未満	10 未満	33	75	68
	N189	慢性腎不全	症例なし	10 未満	10 未満	15	63
	I209	狭心症	症例なし	10 未満	10 未満	29	54
	I509	慢性心不全	10 未満	10 未満	10 未満	16	41
合計	J459	アレルギー性気管支炎	3597	752	336	607	627
	E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	症例なし	10 未満	15	108	410
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	23	26	40	118	215
	E283	原発性性腺機能低下症(女)	症例なし	31	172	268	201
	I499	ペースメーカー調律	10 未満	19	34	81	177
	I209	狭心症	症例なし	10 未満	18	61	169
	N189	慢性腎不全	10 未満	10 未満	15	46	154
	E142	糖尿病性糸球体硬化症	10 未満	10 未満	10 未満	31	103
	D391	卵巣腫瘍	症例なし	10 未満	63	96	89
	I509	慢性心不全	10 未満	10 未満	11	46	85

(注) 集計結果が 10 未満となった疾病は、最小集計単位の原則から具体的な計数を記入していない。

表9-1 年齢階級別疾病小分類別点数合計（上位10位まで）（男）

年齢階級	ICD10 コー	疾患名	点数
10未満	J459	アレルギー性気管支炎	2,178,211
	M303	川崎病	390,491
	N258	家族性若年性ネフロン癆	352,356
	E752	異染性白質ジストロフィー	299,940
	Q211	心房中隔欠損症	263,443
	E550	ビタミンD依存性くる病	199,364
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	183,358
	I514	慢性心筋炎	165,881
	Q250	動脈管開存症	125,517
	I509	慢性心不全	96,767
10-19歳	J459	アレルギー性気管支炎	527,087
	D696	周期性血小板減少症	248,663
	E230	下垂体機能低下症	137,649
	D66	血友病A	126,464
	I456	ウオルフ・パーキンソン・ホワイト症候群	73,259
	A811	亜急性硬化性全脳炎	64,016
	D899	慢性GVHD	50,743
	Q851	結節性硬化症	48,701
	G404	ウェスト症候群	45,754
	D690	紫斑病性腎炎	43,842
20-29	I499	ペースメーカー調律	463,078
	J459	アレルギー性気管支炎	458,603
	D66	血友病A	380,696
	N189	慢性腎不全	369,433
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	309,249
	I209	狭心症	224,269
	G712	筋細管性ミオパチー	177,486
	I517	心筋炎後の心肥大	176,600
	D682	安定因子欠乏症	175,933
	N180	移植腎	140,574
30-39	I499	ペースメーカー調律	1,180,635
	N189	慢性腎不全	1,087,850
	I509	慢性心不全	617,636
	J459	アレルギー性気管支炎	438,095
	E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	337,165
	B24	エイズ	329,629
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	297,862
	G473	先天性中枢性低換気症候群	280,526
	E722	アルギニノコハク酸尿症	252,018
	Q828	Bloom 症候群	241,614
40-49	N189	慢性腎不全	3,660,537
	I499	ペースメーカー調律	1,631,150
	J459	アレルギー性気管支炎	1,279,988
	E119	アミリン遺伝子異常による糖尿病	1,085,742
	E722	アルギニノコハク酸尿症	604,837
	C20	直腸	562,755
	E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	545,261
	I209	狭心症	508,410
	E142	糖尿病性糸球体硬化症	507,973
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	506,831

(注1) 年齢別の対象疾患患者の診療報酬点数を合計したものの。

(注2) 医療費10割の金額であり、実際に患者が支払う医療費とは異なる。

表9-2 年齢階級別疾病小分類別点数合計（上位10位まで）（女）

年齢階級	ICD10コード	疾患名	点数
10未満	J459	アレルギー性気管支炎	1,806,857
	E550	ビタミンD依存性くる病	516,769
	D70	遺伝性好中球減少症	393,003
	Q250	動脈管開存症	365,192
	E752	異染性白質ジストロフィー	332,388
	M303	川崎病	161,757
	E880	アルファ1-アンチトリプシン欠乏症	110,668
	I509	慢性心不全	75,279
	Q212	完全型心内膜床欠損症	64,086
	E162	特発性低血糖症	63,038
10-19歳	J459	アレルギー性気管支炎	628,890
	I499	ペースメーカー調律	251,337
	C719	鞍上部	207,028
	I493	期外収縮	128,439
	I38	慢性心内膜炎	113,021
	N049	先天性ネフローゼ症候群	76,759
	E232	下垂体性尿崩症	75,786
	E343	ソマトメジン不応症	74,888
	E228	仮性思春期早発症	66,222
	J980	気管狭窄	64,385
20-29	E162	特発性低血糖症	673,611
	J459	アレルギー性気管支炎	405,569
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	227,438
	I499	ペースメーカー調律	220,974
	D180	カサバハ・メリット症候群	211,340
	E283	原発性性腺機能低下症(女)	206,799
	D391	卵巣腫瘍	204,351
	E221	高プロラクチン血症	113,074
	N049	先天性ネフローゼ症候群	106,795
	N189	慢性腎不全	104,227
30-39	J459	アレルギー性気管支炎	950,269
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	576,373
	E880	アルファ1-アンチトリプシン欠乏症	572,120
	D70	遺伝性好中球減少症	544,169
	N189	慢性腎不全	490,157
	E221	高プロラクチン血症	479,055
	E283	原発性性腺機能低下症(女)	335,925
	I499	ペースメーカー調律	334,887
	D391	卵巣腫瘍	220,520
	E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	217,976
40-49	N189	慢性腎不全	2,181,758
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	1,228,371
	J459	アレルギー性気管支炎	1,054,142
	I499	ペースメーカー調律	766,497
	E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	715,240
	I509	慢性心不全	620,893
	E722	アルギニノコハク酸尿症	495,940
	E221	高プロラクチン血症	480,133
	E283	原発性性腺機能低下症(女)	417,296
	Q828	Bloom 症候群	310,618

(注1) 年齢別の対象疾患患者の診療報酬点数を合計したもの。

(注2) 医療費10割の金額であり、実際に患者が支払う医療費とは異なる。

表 9-3 年齢階級別疾病小分類別点数合計（上位 10 位まで）（合計）

年齢階級	ICD10 コード	疾患名	点数
10 未満	J459	アレルギー性気管支炎	3,985,068
	E550	ビタミンD依存性くる病	716,133
	E752	異染性白質ジストロフィー	632,328
	M303	川崎病	552,248
	Q250	動脈管開存症	490,709
	D70	遺伝性好中球減少症	393,828
	N258	家族性若年性ネフロン癆	352,356
	Q211	心房中隔欠損症	298,907
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	203,346
	E880	アルファ 1-アンチトリプシン欠乏症	174,526
10-19 歳	J459	アレルギー性気管支炎	1,155,977
	I499	ペースメーカー調律	258,749
	D696	周期性血小板減少症	248,835
	C719	鞍上部	207,028
	E230	下垂体機能低下症	140,855
	I493	期外収縮	129,389
	D66	血友病A	126,464
	I38	慢性心内膜炎	114,511
	E343	ソマトメジン不応症	112,442
	N049	先天性ネフローゼ症候群	79,096
	20-29	J459	アレルギー性気管支炎
I499		ペースメーカー調律	684,052
E162		特発性低血糖症	674,867
E039		甲状腺機能低下ミオパチー	536,687
N189		慢性腎不全	473,660
D66		血友病A	380,696
I209		狭心症	263,269
G712		筋細管性ミオパチー	233,858
D180		カサバツハ・メリット症候群	211,340
E283		原発性性腺機能低下症(女)	206,799
30-39		N189	慢性腎不全
	I499	ペースメーカー調律	1,515,522
	J459	アレルギー性気管支炎	1,388,364
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	874,235
	E880	アルファ 1-アンチトリプシン欠乏症	729,914
	I509	慢性心不全	705,569
	D70	遺伝性好中球減少症	626,378
	E221	高プロラクチン血症	565,172
	E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	555,141
	B24	エイズ	364,711
	40-49	N189	慢性腎不全
I499		ペースメーカー調律	2,397,647
J459		アレルギー性気管支炎	2,334,130
E039		甲状腺機能低下ミオパチー	1,735,202
E780		家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	1,260,501
E119		アミリン遺伝子異常による糖尿病	1,181,288
E722		アルギニノコハク酸尿症	1,100,777
I509		慢性心不全	1,013,219
Q828		Bloom 症候群	777,410
I209		狭心症	662,515

(注 1) 年齢別の対象疾患患者の診療報酬点数を合計したもの。

(注 2) 医療費 10 割の金額であり、実際に患者が支払う医療費とは異なる。

表9-4：疾病小分類・性・年齢別受診者点数合計の推移（10歳未満で上位10位以内の疾患）

	ICD10	疾患名	10未満	10代	20代	30代	40代
男	J459	アレルギー性気管支炎	2178211	527087	458603	438095	1279988
	M303	川崎病	390491	症例なし	症例なし	症例なし	症例なし
	N258	家族性若年性ネフロン癆	352356	症例なし	症例なし	症例なし	症例なし
	E752	異染性白質ジストロフィー	299940	症例なし	症例なし	症例なし	21280
	Q211	心房中隔欠損症	263443	症例なし	症例なし	9048	1574
	E550	ビタミンD依存性くる病	199364	5224	症例なし	488	症例なし
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	183358	20645	309249	297862	506831
	I514	慢性心筋炎	165881	3230	症例なし	3284	症例なし
	Q250	動脈管開存症	125517	症例なし	15204	症例なし	症例なし
	I509	慢性心不全	96767	16934	88877	617636	392326
女	J459	アレルギー性気管支炎	1806857	628890	405569	950269	1054142
	E550	ビタミンD依存性くる病	516769	症例なし	症例なし	症例なし	症例なし
	D70	遺伝性好中球減少症	393003	4095	66179	544169	294671
	Q250	動脈管開存症	365192	症例なし	症例なし	10418	症例なし
	E752	異染性白質ジストロフィー	332388	症例なし	症例なし	1412	症例なし
	M303	川崎病	161757	318	症例なし	症例なし	症例なし
	E880	アルファ1-アンチトリプシン欠乏症	110668	症例なし	症例なし	572120	122378
	I509	慢性心不全	75279	1176	41319	87933	620893
	Q212	完全型心内膜床欠損症	64086	320	症例なし	症例なし	症例なし
	E162	特発性低血糖症	63038	1409	673611	6071	16044
合計	J459	アレルギー性気管支炎	3985068	1155977	864172	1388364	2334130
	E550	ビタミンD依存性くる病	716133	5224	症例なし	488	症例なし
	E752	異染性白質ジストロフィー	632328	症例なし	症例なし	1412	21280
	M303	川崎病	552248	318	症例なし	症例なし	症例なし
	Q250	動脈管開存症	490709	症例なし	15204	10418	症例なし
	D70	遺伝性好中球減少症	393828	4095	67591	626378	467596
	N258	家族性若年性ネフロン癆	352356	症例なし	症例なし	症例なし	症例なし
	Q211	心房中隔欠損症	298907	1270	症例なし	9186	21023
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	203346	47791	536687	874235	1735202
	E880	アルファ1-アンチトリプシン欠乏症	174526	症例なし	41320	729914	382983

(注1) 年齢別の対象疾患患者の診療報酬点数を合計したもの。

(注2) 医療費10割の金額であり、実際に患者が支払う医療費とは異なる。

表 9-5 : 疾病小分類・性・年齢別受診者点数合計の推移 (10~19 歳で上位 10 位以内の疾患)

	ICD10	疾患名	10 未満	10 代	20 代	30 代	40 代
男	J459	アレルギー性気管支炎	2178211	527087	458603	438095	1279988
	D696	周期性血小板減少症	3882	248663	1770	6124	187024
	E230	下垂体機能低下症	6221	137649	71403	3283	1897
	D66	血友病 A	358	126464	380696	109032	94055
	I456	ウオルフ・パーキンソン・ホワイ ト症候群	症例なし	73259	2747	206538	40135
	A811	亜急性硬化性全脳炎	症例なし	64016	79644	61685	症例なし
	D899	慢性GVHD	症例なし	50743	症例なし	症例なし	症例なし
	Q851	結節性硬化症	1550	48701	4157	35205	44687
	G404	ウェスト症候群	3772	45754	1896	58876	52125
	D690	紫斑病性腎炎	15562	43842	974	症例なし	107521
女	J459	アレルギー性気管支炎	1806857	628890	405569	950269	1054142
	I499	ペースメーカー調律	7467	251337	220974	334887	766497
	C719	鞍上部	症例なし	207028	症例なし	6133	症例なし
	I493	期外収縮	2014	128439	症例なし	59619	139170
	I38	慢性心内膜炎	520	113021	症例なし	1740	15604
	N049	先天性ネフローゼ症候群	症例なし	76759	106795	48581	237640
	E232	下垂体性尿崩症	725	75786	4766	2356	11506
	E343	ソマトメジン不応症	42543	74888	症例なし	症例なし	症例なし
	E228	仮性思春期早発症	8373	66222	症例なし	症例なし	症例なし
	J980	気管狭窄	症例なし	64385	症例なし	症例なし	症例なし
合計	J459	アレルギー性気管支炎	3985068	1155977	864172	1388364	2334130
	I499	ペースメーカー調律	12080	258749	684052	1515522	2397647
	D696	周期性血小板減少症	21521	248835	7257	11866	247101
	C719	鞍上部	1802	207028	症例なし	6521	37837
	E230	下垂体機能低下症	52277	140855	74610	15680	17400
	I493	期外収縮	2014	129389	38916	134189	259950
	D66	血友病 A	358	126464	380696	109032	98819
	I38	慢性心内膜炎	520	114511	症例なし	1929	57623
	E343	ソマトメジン不応症	51551	112442	2128	37953	症例なし
	N049	先天性ネフローゼ症候群	4014	79096	119821	188929	424914

(注 1) 年齢別の対象疾患患者の診療報酬点数を合計したもの。

(注 2) 医療費 10 割の金額であり、実際に患者が支払う医療費とは異なる。

表 9-6 : 疾病小分類・性・年齢別受診者点数合計の推移 (20~29 歳で上位 10 位以内の疾患)

	ICD10	疾患名	10 未満	10 代	20 代	30 代	40 代
男	I499	ペースメーカー調律	4613	7412	463078	1180635	1631150
	J459	アレルギー性気管支炎	2178211	527087	458603	438095	1279988
	D66	血友病 A	358	126464	380696	109032	94055
	N189	慢性腎不全	7668	2801	369433	1087850	3660537
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	183358	20645	309249	297862	506831
	I209	狭心症	症例なし	1594	224269	143817	508410
	G712	筋細管性ミオパチー	2278	2836	177486	症例なし	症例なし
	I517	心筋炎後の心肥大	症例なし	症例なし	176600	32264	200446
	D682	安定因子欠乏症	症例なし	症例なし	175933	症例なし	症例なし
	N180	移植腎	症例なし	症例なし	140574	症例なし	302952
女	E162	特発性低血糖症	63038	1409	673611	6071	16044
	J459	アレルギー性気管支炎	1806857	628890	405569	950269	1054142
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	19988	27146	227438	576373	1228371
	I499	ペースメーカー調律	7467	251337	220974	334887	766497
	D180	カサバツハ・メリット症候群	9001	744	211340	11876	25218
	E283	原発性性腺機能低下症(女)	症例なし	32179	206799	335925	417296
	D391	卵巣腫瘍	症例なし	9414	204351	220520	196012
	E221	高プロラクチン血症	2104	56882	113074	479055	480133
	N049	先天性ネフローゼ症候群	症例なし	76759	106795	48581	237640
	N189	慢性腎不全	症例なし	41190	104227	490157	2181758
合計	J459	アレルギー性気管支炎	3985068	1155977	864172	1388364	2334130
	I499	ペースメーカー調律	12080	258749	684052	1515522	2397647
	E162	特発性低血糖症	131205	19880	674867	57023	59738
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	203346	47791	536687	874235	1735202
	N189	慢性腎不全	7668	43991	473660	1578007	5842295
	D66	血友病 A	358	126464	380696	109032	98819
	I209	狭心症	症例なし	11148	263269	319442	662515
	G712	筋細管性ミオパチー	2707	2836	233858	23590	84058
	D180	カサバツハ・メリット症候群	10651	744	211340	13312	128380
E283	原発性性腺機能低下症(女)	症例なし	32179	206799	335925	417296	

(注 1) 年齢別の対象疾患患者の診療報酬点数を合計したもの。

(注 2) 医療費 10 割の金額であり、実際に患者が支払う医療費とは異なる。

表 9-7 : 疾病小分類・性・年齢別受診者点数合計の推移 (30~39 歳で上位 10 位以内の疾患)

	ICD10	疾患名	10 未満	10 代	20 代	30 代	40 代
男	I499	ペースメーカー調律	4613	7412	463078	1180635	1631150
	N189	慢性腎不全	7668	2801	369433	1087850	3660537
	I509	慢性心不全	96767	16934	88877	617636	392326
	J459	アレルギー性気管支炎	2178211	527087	458603	438095	1279988
	E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	症例なし	4828	26180	337165	545261
	B24	エイズ	症例なし	症例なし	23631	329629	123116
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	183358	20645	309249	297862	506831
	G473	先天性中枢性低換気症候群	63278	6613	11832	280526	219135
	E722	アルギニノコハク酸尿症	19948	20140	81107	252018	604837
Q828	Bloom 症候群	8352	4656	36603	241614	466792	
女	J459	アレルギー性気管支炎	1806857	628890	405569	950269	1054142
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	19988	27146	227438	576373	1228371
	E880	アルファ 1-アンチトリプシン欠乏症	110668	症例なし	症例なし	572120	122378
	D70	遺伝性好中球減少症	393003	4095	66179	544169	294671
	N189	慢性腎不全	症例なし	41190	104227	490157	2181758
	E221	高プロラクチン血症	2104	56882	113074	479055	480133
	E283	原発性性腺機能低下症(女)	症例なし	32179	206799	335925	417296
	I499	ペースメーカー調律	7467	251337	220974	334887	766497
	D391	卵巣腫瘍	症例なし	9414	204351	220520	196012
E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	症例なし	1522	12323	217976	715240	
合計	N189	慢性腎不全	7668	43991	473660	1578007	5842295
	I499	ペースメーカー調律	12080	258749	684052	1515522	2397647
	J459	アレルギー性気管支炎	3985068	1155977	864172	1388364	2334130
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	203346	47791	536687	874235	1735202
	E880	アルファ 1-アンチトリプシン欠乏症	174526	症例なし	41320	729914	382983
	I509	慢性心不全	172046	18110	130196	705569	1013219
	D70	遺伝性好中球減少症	393828	4095	67591	626378	467596
	E221	高プロラクチン血症	2104	56882	144926	565172	520103
	E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	症例なし	6350	38503	555141	1260501
B24	エイズ	症例なし	1493	24397	364711	143101	

(注 1) 年齢別の対象疾患患者の診療報酬点数を合計したもの。

(注 2) 医療費 10 割の金額であり、実際に患者が支払う医療費とは異なる。

表 9-8 : 疾病小分類・性・年齢別受診者点数合計の推移 (40~49 歳で上位 10 位以内の疾患)

	ICD10	疾患名	10 未満	10 代	20 代	30 代	40 代
男	N189	慢性腎不全	7668	2801	369433	1087850	3660537
	I499	ペースメーカー調律	4613	7412	463078	1180635	1631150
	J459	アレルギー性気管支炎	2178211	527087	458603	438095	1279988
	E119	アミリン遺伝子異常による糖尿病	症例なし	1458	36702	140225	1085742
	E722	アルギニノコハク酸尿症	19948	20140	81107	252018	604837
	C20	直腸	症例なし	症例なし	症例なし	3592	562755
	E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	症例なし	4828	26180	337165	545261
	I209	狭心症	症例なし	1594	224269	143817	508410
	E142	糖尿病性糸球体硬化症	症例なし	2347	7373	25103	507973
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	183358	20645	309249	297862	506831
女	N189	慢性腎不全	症例なし	41190	104227	490157	2181758
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	19988	27146	227438	576373	1228371
	J459	アレルギー性気管支炎	1806857	628890	405569	950269	1054142
	I499	ペースメーカー調律	7467	251337	220974	334887	766497
	E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	症例なし	1522	12323	217976	715240
	I509	慢性心不全	75279	1176	41319	87933	620893
	E722	アルギニノコハク酸尿症	6388	8292	11331	84272	495940
	E221	高プロラクチン血症	2104	56882	113074	479055	480133
	E283	原発性性腺機能低下症(女)	症例なし	32179	206799	335925	417296
	Q828	Bloom 症候群	5546	10551	5834	93518	310618
合計	N189	慢性腎不全	7668	43991	473660	1578007	5842295
	I499	ペースメーカー調律	12080	258749	684052	1515522	2397647
	J459	アレルギー性気管支炎	3985068	1155977	864172	1388364	2334130
	E039	甲状腺機能低下ミオパチー	203346	47791	536687	874235	1735202
	E780	家族性高コレステロール血症(ヘテロ接合型、型不明も含む)	症例なし	6350	38503	555141	1260501
	E119	アミリン遺伝子異常による糖尿病	症例なし	3378	36702	184813	1181288
	E722	アルギニノコハク酸尿症	26336	28432	92438	336290	1100777
	I509	慢性心不全	172046	18110	130196	705569	1013219
	Q828	Bloom 症候群	13898	15207	42437	335132	777410
	I209	狭心症	症例なし	11148	263269	319442	662515

(注 1) 年齢別の対象疾患患者の診療報酬点数を合計したもの。

(注 2) 医療費 10 割の金額であり、実際に患者が支払う医療費とは異なる。

表10-1 年齢階級別疾病小分類別受診者一人当たり点数（上位10位まで）（男）

年齢階級	ICD10 コード	疾患名	受診者一人当たり点数
10歳未満	N258	家族性若年性ネフロン癆	352356
	E752	異染性白質ジストロフィー	299940
	N040	ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群	88403
	I514	慢性心筋炎	55294
	Q213	ファロー四徴症	34050
	E880	アルファ1-アンチトリプシン欠乏症	31929
	I498	上室性不整脈	31012
	E550	ビタミンD依存性くる病	28481
	D693	血小板減少性紫斑病	25700
	I509	慢性心不全	24192
10～19歳	D66	血友病A	126464
	I456	ウオルフ・パーキンソン・ホワイト症候群	73259
	A811	亜急性硬化性全脳炎	64016
	D696	周期性血小板減少症	62166
	D899	慢性GVHD	50743
	Q851	結節性硬化症	48701
	Q445	肝内胆管異形成症候群	19386
	G404	ウェスト症候群	15251
	I219	心筋梗塞	9334
	D690	紫斑病性腎炎	8768
20～29歳	D66	血友病A	190348
	D682	安定因子欠乏症	175933
	N180	移植腎	140574
	D471	骨髄増殖性疾患	140157
	I472	固有心室性調律	114414
	I420	特発性拡張型心筋症	94051
	G712	筋細管性ミオパチー	88743
	D508	トランスフェリン欠乏症	86756
	A811	亜急性硬化性全脳炎	79644
	C383	縦隔	79169
30～39歳	Q273	体動静脈瘻	220620
	E720	イミノ酸異常症	108419
	E271	アジソン病	86597
	A811	亜急性硬化性全脳炎	61685
	G404	ウェスト症候群	58876
	D66	血友病A	54516
	I455	洞房ブロック	54450
	N251	抗利尿ホルモン不応症	53564
	I456	ウオルフ・パーキンソン・ホワイト症候群	51635
	B24	エイズ	41204
40～49歳	D591	寒冷凝集素症	112562
	D690	紫斑病性腎炎	107521
	D66	血友病A	94055
	K721	移植肝	91309
	E149	diabetes mellitus	77569
	E222	抗利尿ホルモン分泌異常症	66434
	N251	抗利尿ホルモン不応症	57058
	Q871	ヌーナン症候群	57010
	G404	ウェスト症候群	52125
	C64	腎臓	47536

（注1）年齢別の対象疾患患者の診療報酬点数の合計を対象患者数で除したものの。

（注2）医療費10割の金額であり、実際に患者が支払う医療費とは異なる。

表10-2 年齢階級別疾病小分類別受診者一人当たり点数（上位10位まで）（女）

年齢階級	ICD10 コード	疾患名	受診者一人当たり点数
10歳未満	E752	異染色性白質ジストロフィー	166194
	E880	アルファ1-アンチトリプシン欠乏症	110668
	Q250	動脈管開存症	91298
	E550	ビタミンD依存性くる病	64596
	N119	慢性腎盂腎炎	62625
	E038	Kocher-Debre-Semelaigne 症候群	59851
	D70	遺伝性好中球減少症	49125
	Q212	完全型心内膜床欠損症	32043
	Q255	肺動脈閉鎖症	26443
	Q503	卵巣形成不全	25152
10～19歳	C719	鞍上部	207028
	J980	気管狭窄	64385
	I493	期外収縮	64220
	I38	慢性心内膜炎	56511
	N189	慢性腎不全	41190
	E232	下垂体性尿崩症	37893
	E109	1型糖尿病	34439
	E221	高プロラクチン血症	28441
	D693	血小板減少性紫斑病	19150
	E343	ソマトメジン不応症	18722
20～29歳	E162	特発性低血糖症	168403
	N049	先天性ネフローゼ症候群	106795
	D180	カサバハ・メリット症候群	105670
	G473	先天性中枢性低換気症候群	61044
	E161	インスリノーマ	56618
	Q871	ヌーナン症候群	54744
	E744	ピルビン酸カルボキシラーゼ欠損症	43925
	A811	亜急性硬化性全脳炎	43433
	E149	diabetes mellitus	37898
	D70	遺伝性好中球減少症	33089.5
30～39歳	I319	慢性心膜炎	106501
	E880	アルファ1-アンチトリプシン欠乏症	95353
	N151	腎周囲膿瘍	79645
	I071	三尖弁閉鎖不全	72297
	M109	遺伝性若年性痛風	61348
	Q871	ヌーナン症候群	53291
	D70	遺伝性好中球減少症	41859
	E833	遺伝性ビタミンD抵抗性くる病	35993
	B24	エイズ	35082
	N189	慢性腎不全	32677
40～49歳	G712	筋細管性ミオパチー	84058
	E271	アジソン病	60137
	N180	移植腎	52441
	F842	レット症候群	51739
	E249	クッシング症候群	37160
	N189	慢性腎不全	34631
	E209	先天性副甲状腺欠損症	33978
	E220	下垂体性巨人症	32254
	Q851	結節性硬化症	31212
	Q210	右室二腔症	30092

（注1）年齢別の対象疾患患者の診療報酬点数の合計を対象患者数で除したものの。

（注2）医療費10割の金額であり、実際に患者が支払う医療費とは異なる。

表 10-3 年齢階級別疾病小分類別受診者一人当たり点数（上位 10 位まで）（合計）

年齢階級	ICD10 コード	疾患名	受診者一人当たり点数
10歳未満	N258	家族性若年性ネフロン癆	352356
	E752	異染性白質ジストロフィー	210776
	N040	ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群	88403
	N119	慢性腎盂腎炎	62625
	E038	Kocher-Debre-Semelaigne 症候群	59851
	E880	アルファ 1 - アンチトリプシン欠乏症	58175
	E550	ビタミンD依存性くる病	47742.2
	D70	遺伝性好中球減少症	43759
	Q250	動脈管開存症	40892
	I498	上室性不整脈	31012
10～19歳	C719	鞍上部	207028
	D66	血友病A	126464
	J980	気管狭窄	64385
	A811	亜急性硬化性全脳炎	64016
	D696	周期性血小板減少症	49767
	I493	期外収縮	43130
	I38	慢性心内膜炎	38170
	I456	ウオルフ・パーキンソン・ホワイト症候群	36823
	E109	1型糖尿病	34439
	E221	高プロラクチン血症	28441
	20～29歳	D66	血友病A
D682		安定因子欠乏症	175933
N180		移植腎	140574
D471		骨髄増殖性疾患	140157
E162		特発性低血糖症	134973
I472		固有心室性調律	114414
D180		カサバツハ・メリット症候群	105670
I420		特発性拡張型心筋症	94051
D508		トランスフェリン欠乏症	86756
C383		縦隔	79169
30～39歳	Q273	体動静脈瘻	220620
	E720	イミノ酸異常症	108419
	I319	慢性心膜炎	106501
	E271	アジソン病	86597
	N151	腎周囲膿瘍	79645
	M109	遺伝性若年性痛風	61348
	E880	アルファ 1 - アンチトリプシン欠乏症	60826
	D66	血友病A	54516
	I455	洞房ブロック	54450
	N251	抗利尿ホルモン不応症	53564
40～49歳	D690	紫斑病性腎炎	107521
	K721	移植肝	91309
	G712	筋細管性ミオパチー	84058
	E222	抗利尿ホルモン分泌異常症	66434
	D591	寒冷凝集素症	63213
	E149	diabetes mellitus	60628
	E271	アジソン病	60137
	N251	抗利尿ホルモン不応症	57058
	Q871	ヌーナン症候群	57010
	F842	レット症候群	51739

(注1) 年齢別の対象疾患患者の診療報酬点数の合計を対象患者数で除したものの。

(注2) 医療費 10 割の金額であり、実際に患者が支払う医療費とは異なる。

表10-4：疾病小分類・性・年齢別受診者一人当たり点数の推移（10歳未満で上位10位以内の疾患）

	ICD10	疾患名	10未満	10代	20代	30代	40代
男	N258	家族性若年性ネフロン癆	352356	症例なし	症例なし	症例なし	症例なし
	E752	異染性白質ジストロフィー	299940	症例なし	症例なし	症例なし	21280
	N040	ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群	88403	481	2254	877	8596
	I514	慢性心筋炎	55294	1615	症例なし	3284	症例なし
	Q213	ファロー四徴症	34050	538	5415	症例なし	症例なし
	E880	アルファ1-アンチトリプシン欠乏症	31929	症例なし	20660	26299	17374
	I498	上室性不整脈	31012	症例なし	18257	1912	19357
	E550	ビタミンD依存性くる病	28481	5224	症例なし	488	症例なし
	D693	血小板減少性紫斑病	25700	1019	2172	832	1118
	I509	慢性心不全	24192	4233.5	17775	20588	8917
女	E752	異染性白質ジストロフィー	166194	症例なし	症例なし	1412	症例なし
	E880	アルファ1-アンチトリプシン欠乏症	110668	症例なし	症例なし	95353	17483
	Q250	動脈管開存症	91298	症例なし	症例なし	10418	症例なし
	E550	ビタミンD依存性くる病	64596	症例なし	症例なし	症例なし	症例なし
	N119	慢性腎盂腎炎	62625	症例なし	494	症例なし	症例なし
	E038	Kocher-Debre-Semelaigne 症候群	59851	症例なし	症例なし	症例なし	1962
	D70	遺伝性好中球減少症	49125	2048	33090	41859	29467
	Q212	完全型心内膜床欠損症	32043	320	症例なし	症例なし	症例なし
	Q255	肺動脈閉鎖症	26443	7450	症例なし	症例なし	症例なし
	Q503	卵巣形成不全	25152	症例なし	症例なし	症例なし	症例なし
合計	N258	家族性若年性ネフロン癆	352356	症例なし	症例なし	症例なし	症例なし
	E752	異染性白質ジストロフィー	210776	症例なし	症例なし	1412	21280
	N040	ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群	88403	1932	2212	877	8596
	N119	慢性腎盂腎炎	62625	1240	494	症例なし	136
	E038	Kocher-Debre-Semelaigne 症候群	59851	症例なし	症例なし	症例なし	1672
	E880	アルファ1-アンチトリプシン欠乏症	58175	症例なし	20660	60826	17408
	E550	ビタミンD依存性くる病	47742	5224	症例なし	488	症例なし
	D70	遺伝性好中球減少症	43759	2048	22530	26099	19483
	Q250	動脈管開存症	40892	症例なし	15204	10418	症例なし
	I498	上室性不整脈	31012	755	10186	1072	14259

(注1) 年齢別の対象疾患患者の診療報酬点数の合計を対象患者数で除したものの。

(注2) 医療費10割の金額であり、実際に患者が支払う医療費とは異なる。

表10-5：疾病小分類・性・年齢別受診者一人当たり点数の推移（10～19歳で上位10位以内の疾患）

	ICD10	疾患名	10未満	10代	20代	30代	40代
男	D66	血友病A	358	126464	190348	54516	94055
	I456	ウオルフ・パーキンソン・ホワイト症候群	症例なし	73259	2747	51635	13378
	A811	亜急性硬化性全脳炎	症例なし	64016	79644	61685	症例なし
	D696	周期性血小板減少症	1941	62166	885	1021	14387
	D899	慢性GVHD	症例なし	50743	症例なし	症例なし	症例なし
	Q851	結節性硬化症	1550	48701	4157	17603	22344
	Q445	肝内胆管異形成症候群	症例なし	19386	症例なし	症例なし	症例なし
	G404	ウェスト症候群	1886	15251	948	58876	52125
	I219	心筋梗塞	3774	9334	2571	17082	4406
D690	紫斑病性腎炎	3112	8768	974	症例なし	107521	
女	C719	鞍上部	1802	207028	症例なし	1304	9459
	J980	気管狭窄	症例なし	64385	65004	症例なし	37644
	I493	期外収縮	2014	43130	19458	13419	8665
	I38	慢性心内膜炎	520	38170	症例なし	965	7203
	N189	慢性腎不全	7668	14664	31577	34305	37937
	E232	下垂体性尿崩症	1702	15532	2577	1150	18858
	E109	1型糖尿病	症例なし	34439	2245	1067	2388
	E221	高プロラクチン血症	2104	28441	4263	6649	6584
	D693	血小板減少性紫斑病	17220	14617	2313	1014	1411
E343	ソマトメジン不応症	2713	10222	2128	37953	症例なし	
合計	C719	鞍上部	1802	207028	症例なし	1304	9459
	D66	血友病A	358	126464	190348	54516	49410
	J980	気管狭窄	症例なし	64385	65004	症例なし	37644
	A811	亜急性硬化性全脳炎	症例なし	64016	61539	31256	症例なし
	D696	周期性血小板減少症	7174	49767	1210	1187	11232
	I493	期外収縮	2014	43130	19458	13419	8665
	I38	慢性心内膜炎	520	38170	症例なし	965	7203
	I456	ウオルフ・パーキンソン・ホワイト症候群	症例なし	36823	2747	51635	10147
	E109	1型糖尿病	症例なし	34439	2245	1067	2388
E221	高プロラクチン血症	2104	28441	4263	6649	6584	

(注1) 年齢別の対象疾患患者の診療報酬点数の合計を対象患者数で除したものの。

(注2) 医療費10割の金額であり、実際に患者が支払う医療費とは異なる。

表 10-6 : 疾病小分類・性・年齢別受診者一人当たり点数の推移 (20~29歳で上位 10 位以内の疾患)

	ICD10	疾患名	10 未満	10 代	20 代	30 代	40 代
男	D66	血友病 A	358	126464	190348	54516	94055
	D682	安定因子欠乏症	症例なし	症例なし	175933	症例なし	症例なし
	N180	移植腎	症例なし	症例なし	140574	症例なし	37869
	D471	骨髄増殖性疾患	症例なし	症例なし	140157	症例なし	症例なし
	I472	固有心室性調律	症例なし	症例なし	114414	症例なし	640
	I420	特発性拡張型心筋症	4615	症例なし	94051	401	1402
	G712	筋細管性ミオパチー	2278	1418	88743	症例なし	症例なし
	D508	トランスフェリン欠乏症	症例なし	症例なし	86756	症例なし	症例なし
	A811	亜急性硬化性全脳炎	症例なし	64016	79644	61685	症例なし
	C383	縦隔	症例なし	症例なし	79169	症例なし	症例なし
女	E162	特発性低血糖症	3502	1409	168403	1518	2292
	N049	先天性ネフローゼ症候群	症例なし	15352	106795	5398	16974
	D180	カサバツハ・メリット症候群	1500	248	105670	1979	2522
	G473	先天性中枢性低換気症候群	294	16362	61044	10107	7368
	E161	インスリノーマ	1539	800	56618	症例なし	747
	Q871	ヌーナン症候群	1009	症例なし	54744	53291	症例なし
	E744	ピルビン酸カルボキシラーゼ欠損症	症例なし	症例なし	43925	症例なし	症例なし
	A811	亜急性硬化性全脳炎	症例なし	症例なし	43433	826	症例なし
	E149	diabetsmellitus	症例なし	症例なし	37898	症例なし	26745
	D70	遺伝性好中球減少症	49125	2048	33090	41859	29467
合計	D66	血友病 A	358	126464	190348	54516	49410
	D682	安定因子欠乏症	362	症例なし	175933	23569	4587
	N180	移植腎	症例なし	症例なし	140574	症例なし	41843
	D471	骨髄増殖性疾患	症例なし	症例なし	140157	症例なし	症例なし
	E162	特発性低血糖症	3976	2209	134973	5184	5431
	I472	固有心室性調律	症例なし	症例なし	114414	症例なし	640
	D180	カサバツハ・メリット症候群	1331	248	105670	1479	5836
	I420	特発性拡張型心筋症	4615	症例なし	94051	747	1550
	D508	トランスフェリン欠乏症	症例なし	症例なし	86756	症例なし	3959
	C383	縦隔	症例なし	症例なし	79169	症例なし	症例なし

(注 1) 年齢別の対象疾患患者の診療報酬点数の合計を対象患者数で除したもの。

(注 2) 医療費 10 割の金額であり、実際に患者が支払う医療費とは異なる。

表 10-7：疾病小分類・性・年齢別受診者一人当たり点数の推移（30～39歳で上位10位以内の疾患）

	ICD10	疾患名	10未満	10代	20代	30代	40代
男	Q273	体動静脈瘤	症例なし	症例なし	症例なし	220620	症例なし
	E720	イミノ酸異常症	症例なし	症例なし	17387	108419	症例なし
	E271	アジソン病	症例なし	症例なし	症例なし	86597	症例なし
	A811	亜急性硬化性全脳炎	症例なし	64016	79644	61685	症例なし
	G404	ウェスト症候群	1886	15251	948	58876	52125
	D66	血友病A	358	126464	190348	54516	94055
	I455	洞房ブロック	症例なし	症例なし	症例なし	54450	症例なし
	N251	抗利尿ホルモン不応症	症例なし	症例なし	症例なし	53564	57058
	I456	ウオルフ・パーキンソン・ホワイ イト症候群	症例なし	73259	2747	51635	13378
	B24	エイズ	症例なし	症例なし	23631	41204	17588
女	I319	慢性心膜炎	症例なし	症例なし	症例なし	106501	1077
	E880	アルファ1-アンチトリプシ ン欠乏症	110668	症例なし	症例なし	95353	17483
	N151	腎周囲膿瘍	症例なし	症例なし	症例なし	79645	6524
	I071	三尖弁閉鎖不全	症例なし	1185	症例なし	72297	8199
	M109	遺伝性若年性痛風	症例なし	症例なし	症例なし	61348	症例なし
	Q871	ヌーナン症候群	1009	症例なし	54744	53291	症例なし
	D70	遺伝性好中球減少症	49125	2048	33090	41859	29467
	E833	遺伝性ビタミンD抵抗性くる 病	症例なし	症例なし	症例なし	35993	症例なし
	B24	エイズ	症例なし	1493	766	35082	9993
	N189	慢性腎不全	症例なし	41190	20845	32677	34631
合計	Q273	体動静脈瘤	症例なし	症例なし	症例なし	220620	症例なし
	E720	イミノ酸異常症	症例なし	症例なし	17387	108419	症例なし
	I319	慢性心膜炎	症例なし	症例なし	症例なし	106501	1077
	E271	アジソン病	817	症例なし	症例なし	86597	60137
	N151	腎周囲膿瘍	563	症例なし	症例なし	79645	6524
	M109	遺伝性若年性痛風	症例なし	症例なし	症例なし	61348	症例なし
	E880	アルファ1-アンチトリプシ ン欠乏症	58175	症例なし	20660	60826	17408
	D66	血友病A	358	126464	190348	54516	49410
	I455	洞房ブロック	症例なし	症例なし	症例なし	54450	症例なし
	N251	抗利尿ホルモン不応症	症例なし	症例なし	症例なし	53564	57058

(注1) 年齢別の対象疾患患者の診療報酬点数の合計を対象患者数で除したものの。

(注2) 医療費10割の金額であり、実際に患者が支払う医療費とは異なる。

表10-8：疾病小分類・性・年齢別受診者一人当たり点数の推移（40～49歳で上位10位以内の疾患）

	ICD10	疾患名	10未満	10代	20代	30代	40代
男	D591	寒冷凝集素症	症例なし	症例なし	1133	症例なし	112562
	D690	紫斑病性腎炎	3112	8768	974	症例なし	17521
	D66	血友病A	358	126464	190348	54516	94055
	K721	移植肝	症例なし	症例なし	症例なし	症例なし	91309
	E149	diabetesmellitus	症例なし	症例なし	症例なし	症例なし	77569
	E222	抗利尿ホルモン分泌異常症	症例なし	症例なし	症例なし	症例なし	66433
	N251	抗利尿ホルモン不応症	症例なし	症例なし	症例なし	53564	57058
	Q871	ヌーナン症候群	症例なし	1207	症例なし	1656	57010
	G404	ウェスト症候群	1886	15251	948	58876	52125
	C64	腎臓	症例なし	症例なし	症例なし	症例なし	47536
女	G712	筋細管性ミオパチー	429	症例なし	28186	2359	84058
	E271	アジソン病	817	症例なし	症例なし	症例なし	60137
	N18	移植腎	症例なし	症例なし	症例なし	症例なし	52440
	F842	レット症候群	症例なし	症例なし	25966	症例なし	51739
	E249	クッシング症候群	症例なし	症例なし	1302	2962	37159
	N189	慢性腎不全	症例なし	41190	2845	32677	34631
	E209	先天性副甲状腺欠損症	症例なし	1032	1442	症例なし	33977
	E220	下垂体性巨人症	症例なし	症例なし	症例なし	症例なし	32254
	Q851	結節性硬化症	症例なし	388	878	症例なし	31211
	Q210	右室二腔症	1301	1540	5099	1158	30092
合計	D69	紫斑病性腎炎	5285	5097	1003	症例なし	17521
	K721	移植肝	症例なし	症例なし	症例なし	症例なし	91309
	G712	筋細管性ミオパチー	1354	1418	58465	23590	84058
	E222	抗利尿ホルモン分泌異常症	症例なし	症例なし	症例なし	症例なし	66434
	D591	寒冷凝集素症	症例なし	症例なし	1054	症例なし	63213
	E149	diabetesmellitus	症例なし	症例なし	37898	症例なし	60628
	E271	アジソン病	817	症例なし	症例なし	86597	60137
	N251	抗利尿ホルモン不応症	症例なし	症例なし	症例なし	53564	57058
	Q871	ヌーナン症候群	1009	1207	54744	36079	57010
	F842	レット症候群	症例なし	症例なし	25966	症例なし	51739

(注1) 年齢別の対象疾患患者の診療報酬点数の合計を対象患者数で除したものの。

(注2) 医療費10割の金額であり、実際に患者が支払う医療費とは異なる。